

第 1 号議案

資料（１）

平成 29 年度 事業報告（案）

法人全体（事務局）

P 1 ～ P 5

本館拠点

- ・ 障害者支援施設 いくせい
- ・ 広島障害者雇用支援センター

P 6 ～ P 1 4

P 1 5 ～ P 2 3

新館拠点

- ・ 多機能型事業所 よこがわ
- ・ 短期入所 よこがわ

P 2 4 ～ P 2 5

P 2 6 ～ P 3 0

GH拠点

P 3 1 ～ P 3 7

デイサービス拠点

- ・ 広島市東部障害者デイサービスセンター
- ・ 広島市西部障害者デイサービスセンター

P 3 8 ～ P 4 6

P 4 7 ～ P 5 5

就労支援事業拠点

- ・ 多機能型事業所 広島作業所
- ・ 就労継続支援 B 型 上安作業所

P 5 6 ～ P 6 1

P 6 2 ～ P 6 3

公益事業拠点

- ・ 広島市就労支援センター

P 6 4 ～ P 6 6

平成29年度 事業報告

育成会本部

I 活動の概要

知的障害のある人たちが人としての尊厳と権利が守られ、地域の中で安心して、豊かな人生を歩むことが会員の願いである。さまざまな問題の解決と安心できる未来に向かって、確実な施策の実施を期待し、願いや思いを、手をつなぐ育成会の全国大会や中国四国大会、そして、県大会で決議文を通して訴えてきた。また、会報、育成会だより、ホームページ等を通し、様々な情報を提供してきた。支部活動、委員会活動、研修会等を通じて、お互いの意見交換をする中で会員のつながりの強化を図り、会員拡充に努めた。

県育成会が所管していた就労移行支援事業がH29年4月1日に市育成会に移行した。「広島障害者雇用支援センター」は就労と職場定着に向け事業を継続している。障害者就業・生活支援センター事業についてもH30年度の移行に向け関係機関との交渉を進めた。

社会福祉法の改正に伴い、定款変更や新評議員の選任等、制度改革関連への対応を行いガバナンスを強化し、併せて財務諸表等をHP等で公開し情報の開示を行った。

1 障害者が地域で生きる権利の保障

障害のある人、ない人、全ての人が共生し、普通に暮らせる社会の形成を目指して、要望活動、支部活動、障害子ども会活動、青年活動、レクリエーション活動等に取り組んできた。地道な取組・行動の積み重ねの中でその成果が現れてきている。

発達障害支援事業によるサポートファイルに関する研修会の関心も高く、どの会場も盛況であった。知的障害者理解啓発運動として結成した「あび隊」の派遣も年間で39回実施、2,702名の受講者となり、育成会活動を理解してもらうよい機会になった。

2 会員の拡大と組織の強化

年度	親の会	施設親の会	学校親の会	民生・児童委員 退職校長会	育成会職員	市民
19	536	164	396	264	78	5
20	542	170	559	174	79	1
21	555	141	676	220	84	3
22	727	99	765	212	70	16
23	733	116	803	253	111	6
24	762	125	824	193	121	4
25	802	143	770	231	118	1
26	794	140	788	282	88	1
27	827	126	823	263	118	1
28	837	129	843	250	104	1
29	905	134	781	248	106	2

3 組織について

会長のもとに副会長・常務理事・各施設長、事務局長をメンバーとする定例の経営委員会（財務・企画・人事）では、毎月の各事業所の経営状況、課題等について報告、協議を行ってきた。将来構想委員会を給与規程等検討委員会として組織上位置づけ、給与規程や就業規則等の見直しを行った。企画運営委員会の隔月開催も定着し、意見箱に寄せられたアイデアについて検討を重ね、今年度は電信柱に育成会の案内看板を設置した。

II 会務の運営

1 理事・評議員会

平成29年 5月30日 (火)	第1回理事会	平成28年度事業報告、平成28年度計算書類及び財産目録、新役員候補者の承認について、評議員の解任の提案及び新評議員の推薦案について、役員等の報酬の総額の決定について、役員等報酬規程案の承認について、第1回定時評議員会の招集について
平成29年 6月15日 (木)	第1回定時評議員会	平成28年度計算書類及び財産目録の承認について、理事の任期満了に伴う選任について、監事の任期満了に伴う選任について、役員等の報酬等の総額決定の承認について、役員報酬規程案の承認について、定款の変更について
平成29年 6月15日 (木)	第2回理事会	会長の選定について、副会長及び常務理事の選定について、定款の変更について
平成29年 7月11日 (火)	理事会決議の省略による理事会	定款の一部変更の件、評議員会開催通知
平成29年 7月18日 (火)	評議員会の決議省略による評議員会 (臨時評議員会)	定款の一部変更について
平成29年 9月1日 (金)	第3回理事会	障害者支援施設いくせい既設エレベーター1台に対する制御盤交換パッケージ取り付けについて、就業規則及び嘱託職員就業規則の一部改正（案）
平成29年 12月1日 (金)	第4回理事会	多機能型事業所広島作業所送迎用車両のリース契約について、広島市西部障害者デイサービスセンター新規車両のリース契約について
平成30年 1月29日 (月)	理事会決議の省略による理事会	通所バス指名競争入札の指名業者選定について
平成30年 3月19日 (月)	理事会決議の省略による理事会	評議員の決議事項について開催通知、平成29年度第1次補正予算案、平成30年度事業計画及び収支予算案の承認について評議員会の決議を省略すること（決議の省略提案・書面同意書送付）

平成30年 3月26日 (月)	第5回理事会	平成29年度補正予算案について 平成30年度事業計画案について 平成30年度収支予算案等について
平成30年 3月27日 (火)	評議員会の決議省略 による評議員会 (臨時評議員会)	平成29年度補正予算案の承認について 平成30年度事業計画の承認について 平成30年度収支予算案の承認について

2 監事監査

3月26日に事業運営について、5月14日、15日に事業所毎に事業運営及び決算についての監事監査を行った。

3 支部長会

年6回開催。各支部・委員会の活動状況や課題等を報告し、情報交換に努めた。

4 各種委員会

下記の委員会ごとに、年間計画に基づいた活動を展開した。

相談委員会・文化スポーツ委員会・研修委員会・本人活動委員会・本人支援委員会
学校親の会・子ども会・啓発委員会・父親委員会

III 社会福祉事業

- 1 障害者支援施設いくせい
- 2 広島作業所（多機能型 就労継続支援 A 型、B 型、生活介護）
- 3 育成会上安作業所（就労継続支援 B 型）
- 4 多機能型事業所よこがわ（多機能型 就労継続支援 B 型、生活介護）
- 5 短期入所よこがわ
- 6 広島市西部障害者デイサービスセンター（生活介護）
- 7 広島市東部障害者デイサービスセンター（生活介護）
- 8 グループホーム（よこがわ・こいうえ・しんぐうえん）
- 9 広島障害者雇用支援センター

IV 公益事業

1 広島市就労支援センター

広島市内の就労支援施設における仕事の受注拡大や製品の販路開拓・新商品の開発等を図った。

2 清掃事業

広島作業所での清掃事業としては以下の表の通り 8 か所を行ってきた。発注先の清掃事業内容の見直しが毎年なされ、委託料は年々減少している中、体制の見直しを迫られる状況が生じている。また、清掃職員の加齢に伴う作業効率の低下の問題を含め、若返りの方策を検討する必要がある。

受託先	契約方法	受 託 場 所
社会福祉事業団	特命随意	皆賀園、心身障害者福祉センター、西部こども療育センター 北部こども療育センター
広島市スポーツ協会	特命随意	広域公園
三栄産業		佐伯運動公園
その他		西部障害者デイサービスセンター、東部障害者デイサービスセンター

3 職業自立訓練事業

3名が年間を通して訓練を行い、1名が就職につながった。清掃の仕事の楽しさを知ること、仕事に対する意欲がわいてきたとのことであった。

4 生活自立訓練事業

本年度も、昨年度同様、初級16名で訓練を開始した。この事業の目的は「本人の自立に向けた訓練」である。日頃からはなかなかできない体験ができ、修了後、生活に対する意識の変化が見られたと好評だった。また、家庭では訓練の成果を発揮する場面が増えたとのことであった。

5 レクリエーション教室事業

各支部で、文化・スポーツ委員会を中心に12回開催した。ミニテニス教室・料理教室・フットサル教室・工作教室・歌声・木工教室・ストレッチ教室・フラワーアレンジメント・和太鼓演奏会・卓球教室等々が行われ、延べ248人の参加があった。

6 サポートファイルの説明会実施業務

保護者対象6回、計年間6回開催。69名の参加を得て、サポートファイル研修を受講した講師2名により、発達障害者の診断を受けた子どもの保護者、支援者にサポートファイルを配付し、書き方や活用方法などの説明を行った。

7 広島市立広島特別支援学校放課後対策事業及びいきいき活動事業

放課後対策事業は、新年度を5月8日より開始。利用登録者数34人、年間開催日数180日、年間延べ利用者数1504人、年間延べ看護師指導者数1893人。いきいき活動事業(土曜日)は、新年度を5月20日より開始。長期休暇いきいき活動事業は7月21日より開始。利用登録者数31人、年間開催日数63日、年間延べ利用者数416人、年間延べ看護師指導者数409人。利用者・保護者から、「教室」が楽しみで癒しの場になっていると好評を得ている。

8 家庭教育学級

会員の意見をもとに研修テーマを設定し、講師を招聘して6回の研修会を開催した。毎回平均68名の参加があり好評であった。年間延べ参加者数は413名。

開催日時	テーマ	参加人数
------	-----	------

6月12日（月）	小・中・高の進路選択について	86
9月4日（月）	福祉制度について	57
10月12日（木）	親離れ、子離れの話	75
11月13日（月）	人権学習	63
1月15日（月）	人とのかかわる力を育てるには	70
2月19日（月）	ICT 活用研修	62

9 障害者 110 番事業

知的障害者 64 件、身体障害者 32 件、精神障害者 114 件、特定の精神障害者 29 件の相談を受けた。最も多い内容は、病院・病気・施設に関することで、次に日常生活が中心であった。弁護士相談は 10 回、のべ 17 件の相談が寄せられた。リーフレットを作成し、関係団体に配布した。

平成 29 年度 障害者支援施設いくせい 事業報告

1 はじめに

障害者支援施設いくせいの基本理念、基本方針に基づいて計画された平成 27 年度事業計画に則り、以下の事業を実施した。

2 利用者の状況

① 利用者の利用状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男性	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
女性	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	25	25	
計	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	50	50	
入所者											1		1
退所者								1					1

② 年齢構成（平成 30 年 3 月 31 日現在）

年齢	20 歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計
男性			1	3	6	5	2	1	4	3	25
女性			2	6	4	3	4	2	2	2	25
計			3	9	10	8	6	3	6	5	50

平均年齢 男性 49.8 歳 女性 49.2 歳 利用者全体 49.5 歳

③ 障害の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男性	2	20	3	0	25	1	0	0	0	0	1
女性	4	14	7	0	25	2	0	0	0	1	3
計	6	34	10	0	50	3	0	0	0	1	4

④ 障害程度区分の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性				1	14	10	25
女性			1	5	6	13	25
計			1	6	20	23	50

3 職員の状況（平成30年3月31日現在）

職名	人員	職 名	人員	職名	人員	職名	人員
施設長	1	生活支援員	16	看護師	1	講師（創作活動）	7
嘱託医師	1	嘱託生活支援員	6	栄養士	1	相談支援専門員	4
副所長兼生活支援員	1	生活支援員（派遣）	4	事務員	2	理学療法士	1
主任生活支援員	2	生活支援員（休職中）	1	調理員	委託		

4 活動の状況

利用者の活動は、次の五つに分類された内容である。利用者の希望、体力や機能の実態、保護者の希望等に基づいて行った。また、ミュージックは全員参加を基本とし、その他の創作活動は、利用者の希望に沿って選択するようにした。アート、さをり、書道で作られた作品は、育成会祭りやその他（もみじ銀行、三篠公民館）の展示会で発表した。

日常生活に関する内容、健康に関する内容、作業に関する内容は、原則利用者全員が参加した。クラブ活動としては、音楽、生け花、書道などの活動を行った。

また、グループ外出では、横川近辺等での日用品の買物、散歩、飲食等や、JRなどの公共交通機関を利用し、アルパークや広島駅まで行き、飲食や買い物等を行った。

○活動について

① 創作活動に関する内容

活動内容	実施日	指導者
アート	毎月第2・4木曜日午前	外部講師
さをり	毎月第2・4火曜日午前	外部講師

② 健康維持・情緒安定に関する内容

活動内容	実施日	指導者
レクリエーション	毎月第1・3水曜日午前	外部講師
ミュージック	毎月第1・3金曜日午前	外部講師
D&D（ダンス）	毎月第2・4水曜日午前	いくせい職員
ヘルス（散歩・フィットネス）	毎週月曜日その他の午前	いくせい職員

③ 労働（作業）に関する内容

活動内容	実施日	備 考
ワーク	毎週月・金曜日	空き缶つぶし作業

④ 館外活動について

活動内容	実施日	備 考
グループ外出支援	毎週木曜日午後	横川近辺で日用品等の購入、買物、飲食など

⑤ 余暇活動

活動内容	実施日	指導者
書道	毎月一回土曜日午後	保護者ボランティア

5 日課

	月・水・金曜日	火・木曜日	土・日曜日
7:00	起床・洗面・更衣・身辺整理		
8:00	朝食・歯磨き・服薬		
9:30	朝の会		
10:30	午前の活動		自主活動
11:30	昼食準備		
11:45	昼食・歯磨き・服薬		
13:30	午後の活動	午後の活動	入浴（日）
14:30	おやつ	おやつ	おやつ
15:00	入浴	7～9月シャワー浴	自主活動
17:00	自主活動		
18:00	夕食・歯磨き・服薬 自主活動		
21:30	就寝準備		
22:00	消灯・就寝		

6 行事

行事は、生活に変化を与え、生活の中でうるおいとなり、また新しい体験につながるため、計画的に実施した。

花見は、雨天だったため3グループが広島空港、最後のグループは晴れていたため安佐動物公園に行った。

一泊旅行は、3グループに分かれて実施した。一日目は、瀬戸大橋を渡り、のまうまハイランドを散策し、今治国際ホテルに宿泊した。ホテルでは、カラオケで大いに盛り上がった。次の日はタオル美術館を見学し、また瀬戸大橋を渡って帰ってきた。

月	施設内行事	施設外行事	スポーツ大会等への参加
4月		花見（広島空港・小谷パーキング・安佐動物園）	
5月			障害者親善球技大会、ボウリング大会
6月		一泊旅行	
7月	七夕	一泊旅行	
8月	夏祭り		
9月	長寿を祝う会 育成会祭り		
10月		一泊旅行	
11月		ドリミネーション見学	
12月	クリスマス会、忘年会		
1月	開所記念行事		
2月	節分		卓球大会
3月	ひな祭り、送別会		

7 利用者個別支援計画について

① 個別懇談の実施

毎年年度末に利用者・保護者と、個別懇談を行い、いくせいにおける活動、生活等について、希望等を聞き取り、この意向に基づいて、個別支援計画を作成している。

② 個別支援計画の作成及び見直し

3月 その年度の個別支援計画のまとめと次年度の個別支援計画を、利用者と保護者等に提示する。

9月 中間期のまとめを提出し、必要において、個別支援計画の見直しを行う。

3月 個別懇談を行い、今年度の個別支援計画について利用者・保護者の思いや要望を聞き取り、年度のまとめと次年度の個別支援計画を作成した。そして、今年度最後の保護者会で、今年度のまとめと次年度の個別支援計画を提出した。

8 健康・安全管理

① 健康について

年間2回の健康診断、月に2回の健康相談（嘱託医）と、看護師や生活支援員等による日常の健康観察により、疾病等の予防に重点を置いて、利用者の健康管理を行った。日々、ふだんと違う状態があれば、受診した。精神科の診療については、それぞれの利用者の主治医に受診した。生活習慣病検診についても、保護者と相談しながら、可能なかぎり検診を受けた。

歯科については、訪問歯科を中心とし、必要な治療とあわせて予防のための診療を行

った。

看護師、栄養士、生活支援員と厨房の委託業者による保健給食委員会を2カ月に1回開催し、食事や保健衛生面について利用者に関わる内容を検討した。また、嘱託医など専門家の助言を受け、利用者や職員の健康増進に努めた。

飲料水や入浴関係については、清掃、点検、検査等を法定通り実施した。貯水槽や高架水槽の清掃、点検、検査等も定期的実施した。また、厨房等の清掃や館内の消毒等も定期的実施している。

② 栄養ケアマネジメントについて

利用者一人ひとりの栄養改善や食生活の質の向上のために、栄養ケアマネジメントを行い、個々人に最適な栄養ケアを提供するようにした。

③ 機能の維持について

理学療法士の指導により、身体機能の維持、安全で心地よい介護・支援を行えるように取り組んだ。毎月2回から3回、理学療法士による機能訓練の時間を持ち、その中で職員も指導を受けた。

④ 安全管理

火災や地震を想定した昼間や夜間のいくせいのみの避難訓練を実施するとともに、全館の総合避難訓練・消火訓練を実施して災害時への備えを行っている。総合訓練時には、西消防署の指導を受け、訓練の質の向上に努めている。

施設内の安全を確保するため、毎月1回安全点検を行い、施設や車輛の整備を行っている。また、環境整備については、必要に応じその都度行なっている。館内の消防設備、エレベーターは、法定点検を行い、安全の確保に努めている。

⑥ 感染症への取り組みについて

インフルエンザについては、ワクチンの接種、日々の体温測定を行った。ノロ等については、平素からトイレ、手すり等の消毒を実施した。また、嘔吐等やインフルエンザの感染者が出た場合は、他の階の利用者に感染しないようにその階から外に出ないような対応を行った。

⑥保健衛生・安全に関わる事業等

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| ○利用者健康診断（年2回） | ○嘱託医による健康相談（月に2回） |
| ○職員健康診断 | ○体温測定（毎日） |
| ○歯磨き支援 | ○居室等の大掃除、館内消毒 |
| ○厨房等の清掃、消毒 | ○体重測定（毎月） |
| ○各種法定点検（飲料水関係、浴槽水関係、消防設備、エレベーター） | |

○各種点検（電機関係、ボイラー）

8 諸會議

いくせいで、次のような会議を開催し、利用者の体力維持や笑顔が出る生活ができるように努めている。

職員会議（毎月１回） ケース会議（毎月１回）
主任会（必要に応じて概ね月に１回） 各担当委員会
各種委員会（活動支援、保健給食、安全管理、生活支援、倫理綱領）

9 短期入所事業（ショートステイ）

家庭の状況により、在宅で生活できない障害児者を一時的に受け入れ、生活を支援するように努めている。

平成 28 年度は、下の表のような利用があり、在宅の障害児者の福祉の向上に繋がったと考えている。

短期入所については、利用者総数が、1,683 名（延べ人数）となり、1 日平均 4.61 人となっている。

(今後の課題) 土曜日、日曜日、祝日の申し込みが多く、お断りする場合があります。
ご家庭の事情で、長期利用される方が増えている。

短期入所事業実施状況 (単位：人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用 人数	139	145	145	141	136	148	162	157	135	164	106	105	1,683

10 日中一時支援事業

日中一時支援実施状況 (単位：人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用 人数	36	39	31	43	44	48	42	50	42	39	33	43	490

日中一時支援事業については、利用者総数が、490 名（延べ人数）となり、1 日平均 1.34 人となっている。

11 その他

① 広報活動

平成 12 年 11 月より広報紙「いくせい」を発行している。平成 13 年度からは、A4 判でカラー印刷で発行している。保護者、法人内の他施設へ配布している。

② 保護者会（会長は、中村 明美氏）

毎月例会を開き、「いくせい」の活動等を保護者に説明したり、課題等があれば施設と保護者で検討を行なった。

12 障害者相談支援事業

① 障害者相談支援事業（平成 18 年 10 月より、相談支援事業・療育等支援事業、平成 25 年 5 月より相談支援事業）

在宅の障害者（児）や家族等の相談に応じ、障害福祉サービスの利用援助や各種情報の提供等を行った。また、本人に関わりのある機関と連携を取りながらサポートし、福祉制度や様々なサービスの情報提供を行うとともに、障害に対する理解を深めるための啓発活動を行った。

今年度、相談支援事業の利用者数は、256 名（身体障害者 4 名、知的障害者 69 名、精神障害者 12 名、身体・知的 8 名、その他 29 名）であった。相談件数は、訪問による相談 86 件、外来による相談 75 件、同行 32 件、電話相談 49 件、その他 11 件（個別支援会議等）合計 256 件の相談を行った。相談内容は、福祉サービスの利用 147 件、障害や病状の理解 2 件、健康・医療 4 件、不安の解消・情緒の安定 31 件、家計・経済 47 件、生活技術 1 件、就労 20 件、その他 3 件という内容であった。

② 基幹相談支援センター

（1）地域の相談支援体制の強化の取組

自立支援協議会西区地域部会の相談支援部会において、委託及び指定特定相談支援事業所と連携・情報共有し、サービス等利用計画作成についての疑問、困難事例、相談事業を行う中で出てくるケース、地域の課題等についての話し合いを行う。困難なケースについては、相談支援事業所相談員の相談に同席し、スーパーバイズを行う。

（2）総合的な相談支援の実施

来所や訪問や電話による相談を行う。専門性を必要とする相談の場合は専門機関や他区の基幹相談支援事業所と連携をとり同行し支援を行う。

2 カ月に 1 回福祉相談会を実施する。

（3）障害者虐待への二次対応

相談支援事業所の相談支援において、虐待が考えられるケースについては、相談員と検討を重ね、対応を指示する。また、広島市との連絡調整を行う。

（4）成年後見制度利用や障害者差別解消法の合理的配慮等の普及・啓発

成年後見の申し立て申請について、法テラス、ぱあとなあ等の職能団体と連携をとり、支援を行う。成年後見制度についての講演会の実施。

（5）高齢障害者・触法障害者に適切な支援が行われるようにするための取組の実施。

触法障害者への支援において、刑務所、更生保護施設、地域定着支援センターと連携

し、住まいや福祉サービス等の調整を行う。

(6) 災害時における障害者支援のための情報の集約、支援活動の調整・実施

(7) 広島市障害者自立支援協議会地域部会事務局の運営

6回の地域部会の開催、各部会の運営、研修会、イベントの開催等を行う。広報紙の発行。

(8) 広島市障害者自立支援協議会ワーキング会議への参加

2ヶ月に1回のワーキング会議に参加する。

(9) 広島市障害者基幹相談支援センター会議への参加

2ヶ月に1回の基幹相談支援センター会議に参加する。

③ 特定・障害児相談支援事業

i サービス利用支援・障害児支援利用援助

障害者等の心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、利用するサービス等の内容等を定めたサービス等利用計画案または障害児支援利用計画案（以下「サービス等利用計画案」といいます。）を作成し、支給決定等が行われた後に、当該支給決定等の内容を反映したサービス等利用計画を作成した。

ii 継続サービス利用支援・継続障害児利用援助

サービス等利用計画等が適切であるかどうかを一定期間ごとに検証し、その結果等を勘案して、サービス等利用計画等の見直しを行い、内容の変更等を行った。

④ 一般指定相談支援事業

i 地域移行支援

施設や病院に長期入所していた方が、地域での生活に移行するために住居の確保や新生活の準備等について支援を行った。

ii 地域定着支援

居宅で一人で暮らしている障害者に対して、夜間等も含む緊急時の対応や、普段から連絡と取ったり、相談等を行った。

（対象福祉圏域は、広島市）

13 その他

① 苦情・要望について

平成 29 年度は、3 件の苦情を頂いた。

内容 ・いくせいで洗濯、乾燥して衣類がしわになることがある。洗ってもしわがとれない。

・行事の日程が変更になった場合、帰省予定表を配りなおしてほしい。

・水中毒の方の歯磨きを部屋で行っていたが、部屋で歯磨きすると洗面台や流しがないので、うがいの水を飲み込んでしまう。流しで歯磨きをさ

せてほしい。

- ・冬の時期に衣類がしわになり、直らないという苦情を頂きました。洗濯物の量が多いので、なかなか乾燥できず乾燥機の温度を上げたためしわになったようです。温度を上げないようにしました。
- ・帰省予定表に書いてある行事の日程で、帰省を決められている方が多いので、変更の報告だけでなく、新たに配布するようにしました。
- ・流しで歯磨きをすると、水道に口をつけて水を多量に飲まれるので、部屋で歯磨きをしてもらっていましたが、この要望（苦情）を頂き職員で検討し、流しで歯磨きをしてもらうことにして実施しました。職員がうがいの水を出しましょうと言葉がけをしても、うがいの水を少し飲みこまれています。

以上

平成29年度広島障害者雇用支援センター事業報告
(平成29年4月1日～平成30年3月30日)

1 支援対象障害者(訓練生)の状況

(1) 障害別人数

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
男 性	0	19	8	27
女 性	0	6	0	6
計	0	25	8	33

訓練受講実人数33名

(2) 年齢別人数

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
男 性	9	8	5	5	23
身体障害	0	0	0	0	0
知的障害	6	5	4	4	19
精神障害	3	3	1	1	8
女 性	1	4	1	0	6
身体障害	0	0	0	0	0
知的障害	1	4	1	0	6
精神障害	0	0	0	0	0
計	10	12	6	5	33

* 年齢とは入所当時のものである。

(3) 各地域別人数

	広島市	廿日市市	呉市	北広島町	府中町	坂町	熊野町	計
男 性	23	1	0	0	1	2	0	27
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	16	1	0	0	1	1	0	19
精神障害	7	0	0	0	0	1	0	8
女 性	3	1	0	1	0	0	1	6
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	3	1	0	1	0	0	1	6
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	2	0	1	1	2	1	33

(4) 月別状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計・平均
実利用者数	23	23	21	18	19	16	17	15	15	14	14	16	211人
述べ利用者数	405	389	404	360	365	313	348	267	287	267	270	311	3,986人
平均利用者数※1	20	20	18	18	17	16	17	13	14	14	14	15	16.4人
利用率(%)	102	98	92	90	83	79	83	67	72	71	71	71	82.00%

※1 平均利用者数・・・四捨五入後人数

(5) 修了者帰すう状況

	就職	就労継続 A型事業所	就労継続 B型事業所	地域活動 支援センター	職業準備 訓練等	その他	計
男 性	11	0	1	0	0	1	13
身体障害	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	9	0	0	0	0	0	9
精神障害	2	0	1	0	0	1	4
女 性	3	0	0	0	0	1	4
身体障害	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	3	0	0	0	0	1	4
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	14	0	1	0	0	2	17

2 職業準備訓練狀況

(1) 訓練日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日 数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	244

(2) 訓練内容

①作業訓練(受注)

[illegible]

(3) 職場見学及び実習(トライアル雇用及びジョブコーチ利用含む)協力事業所
平成30年3月末日現在

	会社・団体名	分 類	実 習 の 内 容	備 考
1	(株)フレスタ廿日市住吉店	総合スーパー	消費員の品出し、補充	1名面接、実習後就職
2	(株)松田製袋	袋類の製造・販売	商品の包装等	1名体験実習・2名見学
3	広島市教育委員会		清掃	1名面接後就職
4	広島市リハビリテーションセンター	地方独立行政法人	清掃等	1名面接後不採用
5	ホテル法華クラブ広島	ビジネスホテルの運営	事務補助	1名面接、実習後就職
6	広島大学	国立大学法人	清掃	3名面接、2名就職
7	似島臨海少年自然の家	公益財団法人	業務補助員	1名面接後就職
8	(株)広島リバイン	ビルメンテナンス事業	清掃	1名実習後就職
9	(株)晃祐堂	化粧筆等の製造・販売	化粧筆の検品等	1名体験実習
10	(株)ダイキ ダイキ観音新町店	ホームセンター	商品補充	1名体実、3名見学
11	(株)フジ フジ白島店	総合スーパー	商品の品出し、補充等	1名体験実習、2名見学
12	(株)フジ フジグラン緑井	総合スーパー	商品の品出し、補充等	1名体験実習、2名見学
13	(株)ワイテック	自動車部品製造等	清掃	2名体験実習、2名見学
14	(株)トモエ	印刷業		5名見学
15	(株)良品計画	衣服卸売業	商品の品出し、清掃等	1名面接後就職
16	(株)FNクリーン	清掃業	店舗内の清掃、ゴミ回収等	1名実習後就職
17	広島特殊織物(株)	工業用ろ過布の製造		1名見学
18	(株)ポップジャパン	幟類の製造、販売		2名見学
19	ヤマト運輸(株)広島主管支店	運輸業	メール便の仕分け	1名実習後就職
20	広島市北部子ども療育センター		施設内清掃	
21	ヤマト運輸(株)広島南支店	運輸業	メール便の仕分け	1名体験実習、2名見学
22	(株)明光堂	ピン・特殊針の製造販売		2名見学
23	広島市スポーツ協会	公益財団法人	公園内清掃	2名見学
24	(株)大創産業	100円ショップチェーン経営	商品の品出し、清掃等	3名面接、2名実習
25	シェラトンホテル広島	ホテルチェーン	スタッフフロアの清掃	1名体験実習

(3) 職場見学及び実習(トライアル雇用及びジョブコーチ利用含む)協力事業所
平成30年3月末日現在

	会社・団体名	分 類	実 習 の 内 容	備 考
26	(株)白王	クリーニングチェーン	ハンガーの検品等	1名実習後就職、1名見学
27	JR西日本(株)広島メンテック	鉄道事業	駅構内の清掃	1名応募後不採用
28	(株)藤三	スーパーの運営	青果袋詰め、品出し等	1名実習、1名見学
29	広島市スポーツ協会		公園内の清掃	1名体験実習、2名見学
30	(株)フジ フジグランナタリー	総合スーパー	青果類の袋詰め	1名体験実習、2名見学
31	(株)明光堂	安全ピン等の製造	商品の箱詰め等	1名体験実習、2名見学
32	(株)大野屋クリーニングセンター	クリーニングチェーン	ハンガーの検品等	1名体験実習、2名見学
33	(株)マックスバリュ段原店	総合スーパー	商品の品出し及び前出し	1名体験実習、2名見学
34	ヤマト運輸(株)広島主管支店	物流業	宅配便の発送	1名体験実習
35	(株)レデイ薬局 井口店	ドラッグストア	商品の品出し及び補充	1名体験実習
36	中国電力株式会社			2名見学
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

②作業訓練(受注以外)

	会社・団体名	内 容	実 施 月											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	清掃	育成会総合福祉センター本館内共用部分の清掃												
2	ビジネスワーク(火・金午後)	読み書き計算、履歴書作成、面接練習、ビジネスマナー等												
3	喫茶サービス	館内喫茶の補助(注文、カップ洗浄等)												
4	ボールペン組立・分解	指示書どおりに教材をピッキングし、組み立て・分解する。												
5	テーブルタップ組立・分解	指示書どおりに教材を組み立て・分解する。												

③生活訓練

・朝礼、終礼 ・健康管理 ・日直制当番(お茶づくり、早朝清掃、窓の施錠と消灯確認など) ・身だしなみ(服装、整髪、爪切りなど) ・手洗い、うがい ・タイムカードの打刻、出欠札管理 ・避難訓練 ・挨拶、言葉遣い、遅刻・欠勤連絡

④体力づくり

・ストレッチ運動、筋力トレーニング
・ラジオ体操第1・第2
・陸上競技大会練習

⑤野外活動など

公共交通機関をつかっのマナー習得、周囲との協調、時間の管理、自主的な報告や連絡など
・春の野外活動(宮島)
・育成会まつり、陸上競技大会などへの参加

⑥合同面接会

・毎年行われる「障害者合同面接会」への参加
・就職への心構え ・履歴書の書き方 ・面接の練習

⑦定期個人面談(相談)

・就職、生活、人間関係、健康面等

⑧学習活動

実施月	内 容
4・5	4月 「働く」とは 5月 仕事の種類を知る
6	働き方を考える
7・8	求人票の見方
9・10	合同面接に向けて
11・12	自分を知る(自己評価)、働くために必要なことを知る。
1	新年の誓い、求人票の見方、働き方を考える
※ 週2回火曜・金曜の午後ビジネスワーク実施	

⑨健康相談実施状況(嘱託医師による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実 施 日 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

3 就職状況(トライアル雇用、JC利用状況) 平成30年3月末日現在

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
就職者数	1	1	3	1	2	2	0	3	1	0	0	0	14
うち トライアル雇用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち ジョブコーチ利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	就職者	性別	訓練 期間	トライ アル	ジョブ コーチ	就職日		業 務 内 容
1	知的 B	男	1年6ヶ月			2017年4月20日	(株)プレスタ廿日市住吉店	商品の品出し、補充等
2	知的 B	男	1年			2017年5月9日	(株)広島リバイン	清掃業務
3	知的 ㊦	男	6ヶ月			2017年6月1日	広島市教育委員会	学校業務員
4	知的 B	男	2ヶ月		○	2017年6月1日	似島臨海少年自然の家	業務補助員
5	精神 2	男	5ヶ月			2017年6月7日	ホテル法華クラブ広島	事務員
6	知的 B	男	3ヶ月			2017年7月1日	広島大学	業務補助員
7	知的 ㊦	男	1年10ヶ月			2017年8月16日	(株)FNクリーン	清掃業務
8	精神 2	男	1年11ヶ月			2017年8月16日	(株)良品計画	商品の品出し等
9	知的 B	男	1年8ヶ月			2017年9月1日	ヤマト運輸(株)	メール便の仕分け等
10	知的 ㊦	女	8ヶ月			2017年9月1日	広島大学	清掃業務
11	知的 A	男	1年8ヶ月			2017年11月1日	ヤマト運輸(株)広島南支店	メール便の仕分け
12	知的 ㊦	女	7ヶ月			2017年11月1日	北部子ども療育センター	施設内清掃
13	知的 B	男	6ヶ月			2017年11月1日	(株)大創産業	商品補充等
14	知的 B	女	1年9ヶ月			2017年12月19日	(株)白王	ハンガーの検品業務等

※トライアル雇用を利用の場合は、トライアル開始日を就職日とする

4 過去5年間の就職者数及び離職者数と離職率(H30. 3月末現在)

項目別 年度	就職者数(人)	離職者数(人)[該当年度就職者のうち]	離職率(%)
平成23年度	15	9	60
平成24年度	14	5	36
平成25年度	11	6	55
平成26年度	15	1	7
平成27年度	12	0	0
平成28年度	11	1	9
計	78	22	28

《平成30年3月30日現在》

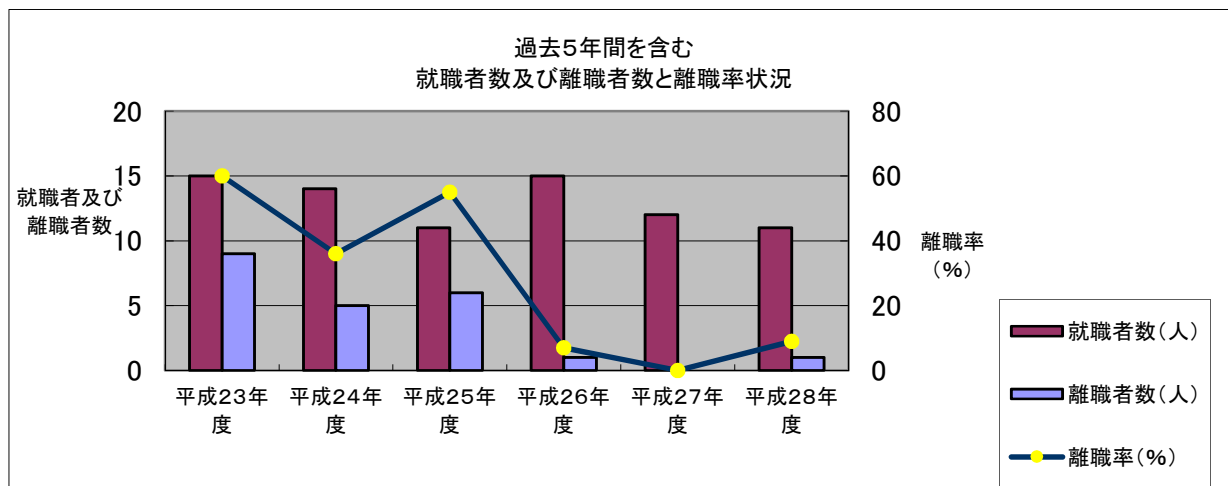
●H9年7月開所以降利用者435名(延べ)

うち、就職者240名、6ヶ月後定着者215名

平成30年3月末現在の定着者132名

●就職率55%、6ヶ月後定着率90%

就職後、現状定着率55%(上記はA型を除く)



5、待機者状況

(人)

	広島市	廿日市市	東広島市	府中町	坂町	熊野町	海田町	計
待機者数	7	0	2	0	0	0	0	9

*待機者とは、4月以降の利用予定者である(平成30年3月30日現在)。

*登録者数とは、その年度の新規登録数を表す。

6、関係機関との連携

- ・広島市健康福祉局障害自立支援課(各区含む)
- ・大竹市健康福祉部福祉課
- ・坂町民生部民生課
- ・府中町福祉保健部福祉課
- ・公共職業安定所(広島、広島東、可部、廿日市、大竹)
- ・広島市立広島特別支援学校
- ・広島県立広島北特別支援学校
- ・広島県立廿日市特別支援学校
- ・広島県立呉特別支援学校
- ・広島県立広島南特別支援学校
- ・広島県、広島市手をつなぐ育成会

- ・廿日市市福祉保健部障害福祉課
- ・熊野町民生部民生課
- ・江田島市福祉保健部社会福祉課
- ・府中町社会福祉協議会
- ・広島市精神保健福祉センター
- ・広島障害者就業・生活支援センター
- ・広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ
- ・廿日市市障がい福祉相談センター
- ・広島障害者職業能力開発校
- ・広島総合教育専門学校
- ・その他

日	課	表
---	---	---

時 刻	時 間	項 目	内 容
8 : 5 0 分まで		出勤	タイムカード打刻、着替え等訓練準備
9 : 0 0 ~ 9 : 1 0	1 0 分	朝礼	あいさつ、健康観察、今日の予定
9 : 1 0 ~ 9 : 4 0	3 0 分	体力づくり	体操・ストレッチ・筋力トレーニング
9 : 4 0 ~ 1 0 : 2 0	4 0 分	※隔週毎月曜	: ゴミ拾い(太田川河川敷周辺) : リラックスタイム (河川敷で各々過ごす)
9 : 4 0 ~ 9 : 4 5	5 分	休憩、作業準備	着替え、作業台移動
9 : 4 5 ~ 1 2 : 0 0	1 3 5 分	作業	作業ごとに個人で行う。
		学習活動	月 1 回実施。
1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 5	5 5 分	昼食・休憩	昼食 音楽鑑賞・読書・卓球等。
1 2 : 5 5 ~ 1 3 : 0 0	5 分	作業準備	作業台移動等。
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	9 0 分	作業	作業ごとに個人で行う。
		健康相談	嘱託医による、健康相談 (月 1 回)。
		ビジネス ワーク	ビジネスワーク(毎週火曜、水曜午後実施。
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0	1 0 分	片付け	作業ごとに、個人またはグループで行う。
1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 0 0	2 0 分	ふりかえり	今日一日の反省を個人で記入、発表する。
1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 2 0	2 0 分	清掃	持ち場の清掃を行う。
1 5 : 2 0 ~ 1 5 : 3 0	1 0 分	終礼	明日の予定確認。
1 5 : 3 0 ~		退社 定期個人面談	タイムカード打刻、着替え、帰宅準備。 2 ヶ月に 1 度定期個人面談

8、 月別行事

実施月日	行 事 内 容	そ の 他
4月27日	春の野外レクリエーション（宮島）	修了式（1名）
5月14日	広島市障害者陸上大会	修了式（1名）
6月10日	{ 訓練生と修了生のつどい 保護者会総会	総合避難訓練 修了式（2名）
7月		
8月		修了式（4名）
9月10日	育成会まつり	
10月15日 10月 3日	合同面接会（広島グリーンアリーナ） 修了生のつどい・保護者会勉強会	修了式（3名）
		総合避難訓練
12月 27日	冬のレクリエーション（忘年会）	修了式（1名）
1月 4日 1月 5日	仕事始め、新年の誓い 初詣（三篠神社）	
2月 18日	修了生のつどい	
3月		修了式（2名）

平成29年度 事業報告

多機能型事業所 よこがわ

(就労継続支援B型)

1 平成29年度の事業について、次のとおり報告いたします。

2 利用者の状況

(1) 利用者契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	55	56	57	55	53	53	54	54	53	53	54	54

(2) 年齢構成 (平成30年3月31日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
計	3	25	7	5	6	4	3	1	54

平均年齢男： 32.7歳 女： 29.3歳 利用者全体： 31歳

(3) 障害の状況 (平成30年3月31日現在)

	療育手帳					身体障害者手帳						精神障害者手帳	
	㊦	A	㊧	B	計	1級	2級	3級	4級	6級	計	2級	計
計	0	11	21	22	54	2	1	2	0	1	6	1	1

(4) 住所地状況 (平成30年3月31日現在)

	東区	中区	西区	南区	安佐北区	安佐南区	安芸区	佐伯区	その他	計
計	4	9	14	5	4	5	4	2	7	54

(5) 利用者障害程度区分 (平成30年3月31日現在)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	計
計	1	12	4	7	2	0	28	54

(6) 利用状況 (定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600
利用可能日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	244
利用可能総日数	1000	950	1100	1000	1100	1000	1000	1000	950	950	950	1050	12200
延べ出席実日数	870	868	963	847	844	808	855	822	805	738	762	881	10063
定員に対する出席率 (%)	87.0	86.8	87.5	84.7	76.7	80.8	81.4	82.2	80.5	77.7	80.2	83.9	82.5

年間平均利用者数・・・41.2人

3 作業収益（平成 29 年 4 月～平成 30 年 2 月）

作業収入		9,049,343
経費	材料費	0
	諸経費	2,720,259
工賃計		5,965,125（ボーナス含）
1人あたりの工賃（月平均）		10,025

主な作業種目の内容

・贈答用食品袋詰め	創愛	・メーター解体	水道局
・タオルクリーニング	スタイルグループ他	・清掃作業	広島市役所
・安全ピン袋入れ	明光堂	・ホタテ貝穴あけ	丸榮
・ブラインド作業	蔵田ファイリング	・編み棒キャップはめ	チューリップ
・折鶴解体	千羽鶴未来プロジェクト	・検査キット発送	広島市
・トリートメント作業	ヤマサキ	・販売（ノート等）	
・パンフレット封入	歯科衛生士専門学校		

4 職員体制

管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、職業指導員 1 名、生活支援員 7 名、
目標工賃達成指導員 1 名

5 行事

月	行 事
4 月	
5 月	春のレクリエーション（交通ランド）
6 月	消防訓練 おやつレクリエーション 歯科検診
7 月	職業能力開発講座（フタバ図書実習・広島リースタオル）避難訓練
8 月	作業所納涼会
9 月	工場見学（造幣局）職業能力開発講座（フレスタ実習）
10 月	三篠小 3 年生交流 ハロウィン行事
11 月	三篠小 3 年生交流 避難訓練
12 月	クリスマス&忘年会
1 月	アビリンピック 三篠小 3 年生交流
2 月	バレンタイン行事
3 月	歯科検診

PC 講座(月 2 回)

ダンスレクリエーション、リズムレクリエーション（月 1 回）

家族会(3 か月に 1 回)

6 日課

就労継続支援 B 型では次のような日課で生活しました。

時 間	内 容
8:45	出勤 朝礼 体操
9:00	作業
10:30	休憩
10:40	作業
12:00	昼食 休憩
13:00	作業
14:30	休憩
14:40	作業
15:45	片付け 清掃 終礼
16:00	退勤

7 苦情 特になし

8 ヒヤリハット報告 7 件

利用者の通勤中の発作・公園清掃中の車への危害・無断外出
信号停車中のドア開放・作業中の防水スプレー噴射（洗濯室乾燥機燃焼部分）
強風による洗濯室前作業小屋の波板の倒壊

9 事故報告書 1 件

納品途中の交通事故

10 課題

- ・利用者の出席率の改善（やりがいのある作業の提供、行事の充実）
- ・作業や集団生活を通して利用者の人格形成を図る。
- ・個別対応が必要な利用者の支援について作業内容や環境面を考える。
- ・消費税増税による経費増に備え単価交渉を行いより高い工賃を目指す。
- ・利用者登録の維持と職員の確保等運営の安定。

（生活介護事業）

1 平成 29 年度の事業について、次のとおり報告いたします。

2 利用者の状況

(1)利用者利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
女	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	8	8
計	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	23	23

(2)年齢構成（平成 30 年 3 月 31 日現在）

年齢	20 歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60 歳以上	合計
計	0	15	4	1	1	1	1		23

平均年齢 男： 34 歳 女： 24 歳 利用者全体： 29 歳

(3)障害の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
計	6	17			23	2	4				6

(4)住所地状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
計	5	6	5	3	1	3				23

(5)利用者障害程度区分（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
計			1	2	13	7	23

(6)利用状況（定員 20 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
利用可能日数	20	20	22	20	22	21	21	20	20	19	19	21	245
利用可能総日数	400	400	440	400	440	420	400	400	400	380	380	420	4900
延べ出席実日数	402	400	449	402	424	412	414	385	391	369	361	399	4808
定員に対する 出席率（%）	100.5	100.0	102.0	100.5	96.4	98.1	98.6	96.3	97.8	97.1	95.0	95.0	98.1

年間平均利用者数・・・19.6 人

(7)通所方法

通所方法	人数
送迎利用	13
自力通所	10
計	23

3 職員体制

管理者 1 名 サービス管理責任者兼生活支援員 1 名、生活支援員 6 名、看護師 1 名

4 行事

月	行 事
4 月	イースター祭り

5 月	新緑ドライブ
6 月	消防訓練
7 月	七夕フェスタ 倉掛防災センター
8 月	バスハイク（ラサーナ）
9 月	育成会まつり
10 月	ハロウィンパーティー
11 月	消防訓練
12 月	クリスマス会 家族合同行事
1 月	書初め 七草粥
2 月	節分 バレンタイン行事
3 月	バスハイク（中工場）ホワイトデー行事

誕生日月・・・外出ランチ

3 カ月に 1 回・・・家族会

5 日課

生活介護では次のような日課で生活しました。

時 間	内 容
9:45	送迎バス到着 身辺整理
10:20	ラジオ体操、朝の会
10:45	午前の活動
11:30	トイレ誘導、昼食準備
12:00	昼食 休憩
13:20	午後の活動、
14:15	マンスリーソング、清掃、リラックスタイム
15:00	帰宅準備
15:25	帰りの会
15:45	帰宅

	月	火	水	木	金
午前	軽作業	軽作業	軽作業 音楽活動(月 2 回) アート活動	軽作業 調理実習(月 1 回)	軽作業
午後	全体活動 グループ活動	全体活動 グループ活動	全体活動 グループ活動	全体活動 グループ活動	全体活動 グループ活動

月 3 ～ 4 回 レクリエーション

月 3 回 よこがわドリームシネマ

月 1 回 ダンスレクリエーション

6 苦情 1件

- ・保護者から、トイレを洋式便器での支援をして欲しいことと職員の見守りを必ずして欲しいと依頼があり職員から「きちんと見ています」と言われたのでやってくれていると思っていた。その後も自宅で尿失禁やまき散らしが続いており母親も困っていた。連絡ノートでちがう支援が書いて有り、聞いてもらってなかったと思うと信頼できない。一人ひとりに合った対処方法や支援を話し合い共有して欲しい。上司からもきちんと指導をして欲しい。

●保護者に謝罪し、依頼が有ってからの経過記録をまとめ保護者に支援側の思いも伝える。保護者からの思いが書かれた FAX を職員に回覧し共有した。

7 ヒヤリハット報告 3件

非常ボタンを押す・バスの中での興奮・誤食

8 事故報告書 3件

他害・転倒外傷

9 課題

- ・発作が頻繁に起こる利用者や、大きな声が出る個別対応の必要な利用者が増えており特に職員が少ない時、支援が充分に行き届かない。
- ・日々の活動のメニューを増やしたが、企画や準備の段階で効率よくまわるような工夫が必要。
- ・新しい活動内容を検討し利用者の選択肢を増やす。
- ・利用者一人ひとりに合わせた環境設定をする。

10 職員研修

発達障害支援基礎研修

強度行動障害支援養成研修（基礎）

強度行動障害支援養成研修（実践）

リスクマネジメント研修

相談支援従事者研修

スーパーバイザー養成研修

生涯研修（中堅）

感染予防研修

発達障害支援スキルアップ研修

育成会中四国大会

広島県知的障害者福祉大会

救急法短期講習

レクリエーション支援者養成研修

サービス管理責任者研修

第6回きらっと光る人生を考える研究大会

説明、説得能力向上研修

平成29年度 事業報告

短期入所事業よこがわ

1 短期入所事業よこがわの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用状況(定員7名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	30	300
利用可能総日数	210	217	210	217	217	210	217	210	196	196	196	210	2100
延べ利用実日数	191	172	198	181	178	162	178	180	157	147	154	176	1744
定員に対する 利用率(%)	91.0	79.3	94.3	83.4	82.0	77.1	82.0	85.7	80.1	75.0	78.6	81.1	83.0

年間平均利用者数 5.8人

3 苦情

なし

4 ヒヤリハット報告 1件

無断外出

4 事故報告書 2件

異食・発作での対応

5 課題

- ・ 土日利用の人数が少ない。又短期入所の制度改正に伴い普段の利用についても影響が有るかもしれないので、さらなる利用率アップを目指す。
- ・ 世話人は重度の利用者を受け入れる事に大変不安がある。短期、GHも含めて職員体制、現場での指導ができる正規職員の配置が必要だが、運営的には厳しい。

現在当日宿泊する組み合わせを考えて今のところ受入れをしているが、今後緊急性のある方などの受け入れも考えるとアセスメントをしっかりと行い、職員のスキルを上げる実技研修も考慮する。

平成29年度 事業報告

グループホーム

(よこがわ)

1 グループホームよこがわの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

(2) 利用者障害程度区分（平成30年3月31日現在）

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	1	4	3	2	0	10
女	3	0	5	2	0	0	10
計	3	1	9	5	2	0	20

(3) 利用状況(定員20名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	365
利用可能総日数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7300
延べ利用実日数	496	482	530	524	495	490	494	479	496	470	463	495	5914
定員に対する 利用率(%)	82.7	77.7	88.3	84.5	79.8	81.7	79.7	79.8	80.0	75.8	82.7	79.8	81.0

年間平均利用者数 16.2人

(4) 年齢構成（平成30年3月31日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	0	1	0	2	3	2	1	1	10
女	0	1	0	2	3	2	2	0	10
計	0	2	0	4	6	4	3	1	20

平均年齢 男：43.3歳 女：41.6歳 利用者全体：42.5歳

(5) 障害の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					精神障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	0	6	3	1	10		1				1
女	0	4	5	1	10		1				1
計	0	10	8	2	20		2				2

(6) 住所地状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐北区	安佐南区	安芸区	佐伯区	その他	計
男	0	0	4	0	0	3	1	2	0	10
女	0	2	1	2	1	1	1	1	1	10
計	0	2	5	2	1	4	1	4	1	20

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	
6 月	
7 月	レクリエーション
8 月	夏祭り
9 月	避難訓練
10 月	
11 月	
12 月	忘年会
1 月	
2 月	避難訓練
3 月	

2 ヲ月に 1 回・・・家族会

4 苦情 1 件

・雪の為に本人が不安になっており、宿泊予定通り泊まれないことを母親が電話した時に、対応した職員から短期入所のほうが良いのではないかと等言われたことにショックを受けた。

●保護者に謝罪する。又、本人の不安を解決しないと泊まれないのは理解しているので、今まで通りしっかりと本人の話を聴いてもらい、無理の無いよう宿泊を促してもらうことをお願いする。職員には保護者の心境も配慮し話をするよう指導する。

- 5 ヒヤリハット報告書 なし
- 6 事故報告書 2 件
- 無断外出

(こいうえ)

1 グループホームこいうえの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
男	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
計	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

(2) 利用者障害程度区分（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男	0	2	8	1	2	0	13
女	1	3	2	1	0	0	7
計	1	5	10	2	2	0	20

(3) 利用状況(定員 20 名)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
定員数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	365
利用可能総日数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7300
延べ利用実日数	497	556	544	565	558	568	593	560	560	555	521	591	6668
定員に対する 利用率(%)	82.8	89.7	90.7	91.1	90.0	94.7	95.6	93.3	90.3	89.5	93.0	95.3	91.3

年間平均利用者数 18.3 人

(4) 年齢構成（平成 30 年 3 月 31 日現在）

年齢	20 歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60 歳以上	合計
男	0	1	0	1	5	0	3	3	13
女	0	2	0	1	0	2	1	1	7
計	0	3	0	2	5	2	4	4	20

平均年齢 男： 48.9 歳 女： 43.4 歳 利用者全体： 46.2 歳

(5) 障害の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳						身体障害者手帳					
	不明	㊤	A	㊦	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	0	0	5	6	2	13						
女	0	0	1	6	0	7						
計	0	0	6	10	1	17						

(6) 住所地状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐北区	安佐南区	安芸区	佐伯区	その他	計
男	1	5	1	3	0	3	0	0	0	13
女	0	3	1	1	1	0	0	0	1	7
計	1	8	2	4	1	3	0	0	1	20

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	
6 月	
7 月	レクリエーション
8 月	平和大通り清掃 夏祭り 避難訓練
9 月	
10 月	
11 月	
12 月	
1 月	新年会
2 月	
3 月	避難訓練

3 か月 1 回・・・家族会

4 苦情 1 件

- ・世話人から食堂のトイレを使用してはいけない事や、お風呂のシャワーホースが壊れたのは自分のせいだと言われた。他にも色々と言われてストレスで膀胱炎になった。トイレを利用できるようにして欲しいことや、自分にだけ冷たい対応をするのはどうしてか。父親と本人からの苦情を受ける。

●上記の苦情に対して世話人と本人が言っている内容が違うため保護者にも参加してもらい話し

合いを行う。トイレは使用しても良いことを伝え納得している。今後、疑問や納得できない事が有れば窓口を所長か新田にする。保護者は世話人を変えることを希望するが出来ない事や、その都度こちらの支援が間違いであれば指導することを伝えた。

- 5 ヒヤリハット報告書 なし
 6 事故報告書 2件
 誤薬、現金の紛失

(しんぐうえん)

- 1 グループホームしんぐうえんの事業について、次のとおり報告致します。
 2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

(2) 利用者障害程度区分（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男					1		1
女			1	3	5		9
計			1	3	6		10

(3) 利用状況（定員 10 名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	365
利用可能総日数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3650
延べ利用実日数	206	200	216	209	201	194	216	215	211	192	189	225	2474
定員に対する 利用率(%)	68.7	64.5	72.0	67.4	64.8	64.7	69.7	71.7	68.1	61.9	67.5	72.6	67.8

年間平均利用者数 6.8 人

(4) 年齢構成（平成 30 年 3 月 31 日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	0	0	1	0	2	0	6	0	9

計	0	1	0	0	2	0	7	0	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

平均年齢 男： 60 歳 女： 55.8 歳 利用者全体： 57. 9 歳

(5) 障害の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	0	1	0	0	1					1	1
女	1	8	0	0	9			1			1
計	1	9	0	0	10			1		1	2

(6) 住所地状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	0	1	3	0	0	0	1	4	0	9
計	0	1	3	0	0	0	1	5	0	10

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	町内清掃
6 月	
7 月	
8 月	避難訓練
9 月	
10 月	
11 月	町内清掃
12 月	
1 月	新年会
2 月	
3 月	避難訓練

毎月・・・家族会、体重測定

4 苦情 なし

5 ヒヤリハット報告 なし

6 事故報告書 なし

7 グループホームの課題

- ・ GH よこがわの管理費 1 人あたり年間 30 万について、10 年後以降どうするか。
- ・ 宿泊の回数を増やしてもらえるよう家族会でお願いをし、利用率を上げていく必要がある。
- ・ 利用者の高齢化や疾病に伴う通院が増えている。保護者の高齢化のため、ヘルパーの通院付添いの必要な利用者に職員がヘルパー手配をしたり通院付き添いをするが増えている。又今までは保護者が訪問し部屋の片づけや衣替えをされていたがそれも難しくなっており各 GH 特に 20 人定員の職員の支援体制については課題である。
- ・ 健康面での配慮が必要な利用者が増えており、生活習慣や食生活の部分で支援が必要な利用者もいる。
- ・ 利用者の土、日の余暇については簡単な散歩等が必要でもヘルパーがいないので一人では出れない。
- ・ 成年後見人の手続きが出来ていない方、手続きをしたくないと言われる保護者がおられる。

8 研修

第 13 回日本グループホーム学会福井大会

人権擁護研修

強度行動障害支援者養成研修（基礎）

サービス管理責任者グループリーダー研修

広島県サービス管理責任者等フォローアップ研修

育成会職員研修

救急法短期講習

第 4 回きらっと光る人生を考える研究大会

平成29年度 東部障害者デイサービスセンター 事業実施報告

1 平成29年度の事業について、次のとおり報告いたします。

2 利用者の状況（平成30年3月31日現在）

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
作業室	登録者数	31	31	31	31	30	30	29	29	29	29	29	29	30
	出席可能日	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	20
	出席可能な延べ日数	620	620	682	620	660	600	609	580	580	551	551	609	607
	実出席延べ人数	498	508	564	496	516	493	508	475	499	453	476	522	501
	出席率(%)	80	82	83	80	78	82	83	82	86	82	86	86	82
	定員30名の出席率(%)	83	85	85	83	78	82	81	79	83	79	84	83	82
重介護	登録者数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	出席可能日	A	10	10	11	10	11	10	10	10	10	9	11	10
		B	10	10	11	10	11	10	11	10	10	9	10	10
	出席可能な延べ日数	190	181	209	190	209	190	190	190	181	181	190	200	192
	実出席延べ人数	158	166	185	162	174	154	161	159	164	150	157	164	163
	出席率(%)	83	87	89	85	83	81	81	84	86	83	87	82	84
	定員20名の出席率(%)	79	83	84	81	79	77	77	80	82	75	83	78	80

地域活動支援Ⅱ型：利用者0名

(2) 年齢構成

年齢		～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	～55	56～	計	
作業室	男	1	4	3	4	1	1	0	0	0	1 4	2 9
	女	0	1	1	3	2	5	1	1	1	1 5	
重介護サービス室	男	2	1	2	3	0	0	0	1	0	9	1 9
	女	0	2	3	1	2	0	0	1	1	1 0	
地域活動支援Ⅱ型	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全体	男	3	5	5	7	1	1	0	1	0	2 3	
	女	0	3	4	4	4	5	1	2	2	2 5	
	計	3	8	9	1 1	5	6	1	3	2	4 8	

平均年齢	全体	33.4 歳	男性 : 29.7 歳	女性 : 38.2 歳
	作業室	34.9 歳	男性 : 29.6 歳	女性 : 39.9 歳
	重介護室	32.8 歳	男性 : 29.8 歳	女性 : 35.6 歳

(3) 居住地区

区	安芸区	南区	中区	東区	西区	合計
作業室	12	9	1	6	1	29
重介護サービス室	6	8	2	3	0	19
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0	0	0	0
計	18	17	3	9	1	48

(4) 通所方法

	送迎バス	自主通所	合計
作業室	27	2	29
重介護サービス室	13	6	19
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0
計	40	8	48

(5) 障害支援区分

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
作業室	男	—	—	0	2	6	6	14
	女	—	—	2	5	4	4	15
重介護室	男	—	—	0	0	0	9	9
	女	—	—	0	0	3	7	10
地域活動支援	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	2	7	13	26	48

平均障害支援区分	全体	5.31	男性 : 5.57	女性 : 5.08
	作業室	4.97	男性 : 5.28	女性 : 4.67
	重介護室	5.84	男性 : 6.0	女性 : 5.7

(6) 障害の状況

手帳	重 複 所 持									単 独 所 持									合計	
身体障害者 手帳 級	1			2		3		5	計	1	2	3	5	計					計	
療育手帳 (級)	○ A	A	B	○ A	A	○ A	A	○ A							○ A	A	○ B	B		
作業室	1	1	0	1	0	0	1	1	5	0	0	0	0	0	3	19	0	2	24	29
重介護サ ービス室	9	0	1	3	0	0	0	0	13	6	0	0	0	6						19
地域活動 支援Ⅱ型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	1	1	4	0	0	1	1	18	6	0	0	0	6	3	19	0	2	24	48

(7) 給食サービス

	利用者数	給食サービス利用者数	利用率
作業室	29	28	97%
重介護サービス室	19	17	89%
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0%
全体	48	45	94%

(8) 入浴サービス

	利用者数	入浴サービス利用者数	利用率
作業室	29	5	17%
重介護サービス室	19	15	79%
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0%

3 職員体制

所 長	1名
副所長兼サービス管理責任者	1名
生活支援員	21名
看護師	1名
入浴介助員	2名
事務員	3名（常勤換算 1.2名）

4 事業内容

(1) 通所事業

① 作業室（生活介護）

・活動内容

日常活動：五感 ゆらつくす 創作クラブ 音楽 シネマ カラオケ 茶話会クラブ
ペン字クラブ 散歩 ipad クラブ

生活活動：社会体験（各種行事 館外活動等）

基本的生活（食事 排泄 着脱 コミュニケーション 入浴等）

自立生活（調理実習 買いもの 清掃 余暇利用等）

健康活動：散歩 レクスポ 運動 機能訓練等

・利用者数 男14名 女15名 計29名（平成30年3月31日）

・出席状況 利用者数に対して82% 定員30名に対して82%

② 重介護サービス室（生活介護）

・活動内容

日常活動：創作 体験 リラックス

生活活動：社会体験（各種行事 忘年会 お茶会 外食 館外活動等）

基本的生活（食事 排泄 着脱 コミュニケーション 入浴等）

自立生活（調理実習 買いもの 清掃 余暇利用等）

健康活動：散歩 体幹調整 スポーツレクリエーション Wii ダンス
機能訓練等

・利用者数 男9名 女10名 計19名（平成30年3月31日）

・出席状況 利用者数に対して84% 定員10名に対して80%

③ 地域活動支援Ⅱ型

・今年度利用者なし

④ 平成29年度通所事業行事

「ひまわり」は作業室、「マンボウ」は重介護サービス室の愛称です。

太文字は両室参加の全体行事です。

月日	行事内容		
4月		10月	スポーツフェスティバル (東部デイ内) ひまわり・マンボウ…館外活動
5月		11月	安芸区民まつり ひまわり・マンボウ…館外活動
6月		12月	ひまわり…クリスマス会 マンボウ…クリスマス会
7月	ひまわり…夏まつり	1月	ひまわり…簡単クッキング
8月	マンボウ…サマーフェスティバル	2月	ひまわり…節分行事
9月	育成会まつり	3月	ひまわり…振り返りの会 マンボウ…茶話会

(2) 地域支援事業

社会適応訓練室・静養室の利用 個人利用・専用利用

① 各種教室の企画・開催・運営

- ・ 月2回開催： 手工芸教室(20回)・書道教室(24回)・絵画教室(24回)
陶芸教室(22回)・カラオケ教室(24回)・手織り教室(22回)
- ・ 月1回開催： フラワーアレンジメント教室(12回)・ヨーガ教室(12回)
- ・ 福祉ボランティア教室：6月・1月に実施(2名)

② サークル活動

- ・ ボランティアサークル「イースト」
ボランティア教室終了後、ボランティア登録をして当センターの諸活動に参加
登録ボランティア：21名(年間活動人員 延べ658名)
- ・ 織りフレンズ(手織りグループ)
第1・第3金曜日 12:00～14:00
12名(身体障害者・介助者等)
- ・ ぎぼうし(手芸グループ)
月1回(不定期) 10:00～15:30
6名(身体障害者等)

③ 教室事業利用状況

平成29年度教室利用状況														
教室名	回数	障害別受講者数										その他		
		身体障害							知的 障害	精神 障害	計			
		視 覚	聴 覚	肢 体	内 臓	言 語	その他	小計				介 助	ボ ラン ティア	計
絵画	24	2	0	19	22	0	0	43	53	8	104	36	14	50
手工芸	20	0	19	12	8	0	0	39	45	2	86	31	37	68
陶芸	22	30	21	57	22	0	0	130	19	37	189	19	56	75
カラオケ	24	0	0	6	23	0	0	29	111	0	140	89	23	112
書道	24	25	0	80	0	9	0	114	39	17	170	24	49	73
手織り	22	45	0	105	0	0	0	150	42	2	194	45	48	93
ヨーガ	12	10	0	38	4	0	9	61	0	1	62	7	0	7
フラワーア レンジメント	12	0	12	10	0	7	0	29	40	2	71	36	41	77
合計	160	112	52	327	79	16	9	595	349	69	1013	287	268	555

④ 機能訓練室の利用

作業療法士による理学療法相談を経て機能訓練を行なう。

⑤ 相談業務

- ・ 生活相談(随時) 社会福祉士等による相談
電話相談 処遇相談 各種相談

(3) 地域交流事業

① 福祉教育事業

- ・ 特別支援学校生徒のための進路指導としての福祉教育 1名
- ・ 大学・専門学校生のための職業としての福祉教育 17名
- ・ 通所希望者の体験実習 2名

② ボランティア活動

- ・ ボランティアサークル イースト：ボランティア教室修了後、ボランティア登録をして当センターの諸活動に参加する。
- ・ 登録ボランティア（21名 年間活動人員延べ658名）

③ 育成会まつり

開催日 : 9月10日（日）
開催場所 : 広島市立三篠小学校
内 容 : 作品展示 自主製品の販売
参加団体 : 利用者 育成会各施設利用者 家族 地域住民

④ 平成29年度安芸区民まつり

開催日 : 11月12日（日）
開催場所 : 安芸区総合福祉センター・安芸区民文化センター
内 容 : 活動内容のパネル・作品展示 ビンゴゲーム、
参加団体 : 利用者 介護者 地域生活支援利用者 地域住民 ボランティア

⑤ 地域交流活動

- ・ 民生委員児童委員の施設見学（大河地区） 19名
- ・ 安芸区図書館にて東部デイ紹介のパネル展示（12月1日～9日）

(4) 安全管理、防災に関すること

- ・ 避難訓練の実施（火事・地震・送迎バスに関するもの）
 - 安芸区総合福祉センター全体避難訓練 … 年1回－1月31日実施
 - 消防訓練（安芸区消防署内） … 11月17日実施
 - 東部障害者デイサービスセンター避難訓練 … 8月28日、3月5日
- ・ 防災設備、電気設備、エレベーター等点検整備 … 安芸区総合福祉センター
- ・ 送迎バス等の点検整備 … 業者委託
- ・ デイサービスセンター内施設点検・整備 … 安全点検 毎月1回

(5) 職員研修（別添1）

- (ア) 館内の研修 5回
(イ) 館外の研修 27回

(6) 広報活動

- ・ 東部デイニュース 年6回発行
- ・ 東部障害者デイサービスセンター年報作成

(7) 苦情処理窓口設置

- ・ 毎日、連絡ノート等を通して相談を受付けており、その都度生活支援をする中で解決している。
- ・ ご意見箱の設置

○苦情2件（バス内の環境改善の件・バス停留所通過の件）

①バス内の環境改善の件

帰りの送迎バスの中で利用者が不安定な状態であったので、迎えのヘルパーに伝える。その後、母親から電話があり、不安定の原因を聞かれ、バス内の環境が騒がしいことにストレスを感じているのかもしれないし、本人の体調も影響しているかもしれないと伝えると、安心して送迎バスに乗車できるようにすぐにでもバス内の環境改善を図ってほしいと訴えられる。

<対応>

保護者に電話にて、対策を早急に考えると伝える。

対策として、大きな声が出たりする利用者がいる月曜日と火曜日に、バスの添乗職員を1人から2人に増やして対応する。

②バス停留所通過の件

迎えの送迎バスが利用者が待っている停留所を通り越してしまい、Uターンしてバス停に戻ったことに対して、以前にも同様なことがあり、おかしくないですかと翌日にノートコメントがある。

<対応>

保護者には連絡ノートと所長から電話で謝罪をする。

前のバス停を出発する時に添乗職員から「次、〇〇に停車してください」と言っているが、その利用者のバス停が近づいたら、もう1度「次、〇〇に停車してください」と運転手に伝えるようにした。

(別紙3) 平成29年度 館外研修		
	研修名	内容
5月	発達障害支援基礎研修	個々の発達障害の特性に配慮した支援を学ぶ
6月	コミュニティーソーシャルワーク基本研修	地域で暮らすことを支えるためにメリットやニーズなど基本から学ぶ
	食中毒予防講習会	食中毒予防について発生状況や対策を学ぶ
7月	広島県相談支援従事者初任者研修(全2回)①②	障害者の地域生活支援、相談支援の基本姿勢、ケアマネジメント概要等
	共生社会を支えるための障害児・者とのコミュニケーション技術研修会	障害者とのコミュニケーションに関する理論や技術を学ぶ
	業務課題の解決と実践研修(初任者)(全2回)①	多面的に物事を捉える演習を通じ、業務課題を解決する力を身につける
	指定管理者制度導入施設に係る関係法令研修	労働関係法令、障害者差別解消法、広島市職員対応要領
8月	業務課題の解決と実践研修(初任者)(全2回)②	多面的に物事を捉える演習を通じ、業務課題を解決する力を身につける
	リスクマネジメント研修(中堅職員)	リスクマネジメントの基礎知識 ヒヤリハットの事例
	救急対応技術研修	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた心肺蘇生法 等
9月	防災安全研修(通所C)	避難管理、消火実技等の実践的な訓練、地震対策等の基礎知識
	業務課題の解決と実践研修(中堅職員)(全2回)①	多面的に物事を捉える演習を通じ、業務課題を解決する力を身につける
10月	業務課題の解決と実践研修(中堅職員)(全2回)②	多面的に物事を捉える演習を通じ、業務課題を解決する力を身につける
	感染症予防研修	代表的な感染症と予防対策の基本
11月	福祉職員キャリアアップ研修(チームリーダー)(全2回)①②	チームリーダーとしての基本的な役割を遂行するための知識、技術
	業務課題の解決と実践研究(チームリーダー)(全2回)①	多面的に物事を捉える演習を通じ、業務課題を解決する力を身につける
	実践から学ぶ人材育成とマネジメントセミナー	養成校×事業者 本音パネルディスカッション 人材育成とマネジメント
	安芸消防署消防訓練	自衛消防訓練のあり方、消防訓練(水消火器)及び避難訓練(煙体験)
	広島県知的障害者福祉大会	障害のある側とない側がお互いの立場を理解する
	社会福祉施設の医学知識研修	介護職に求められる基礎的な医学知識や観察や対応
	サビ管交流会	サービス管理責任者間でのネットワーク構築
12月	業務課題の解決と実践研究(チームリーダー)(全2回)②	多面的に物事を捉える演習を通じ、業務課題を解決する力を身につける
	中堅職員コミュニケーション研修	聴く力、話す力を磨き、効果的に相手に伝える技術を学ぶ
	広島県サービス管理責任者研修(全2回)①②	アセスメントとサービス提供の基本姿勢 等
	広島県障害者虐待防止・権利擁護研修	施設・事業所における虐待防止の取り組み、実態、対応等
	キラッと光る人生を考える研究大会	行政説明、実践報告、障害者福祉の展望、シンポジウム
1月	広島県サービス管理責任者研修(全2回)①②	アセスメントとサービス提供の基本姿勢 等
	クレーム対応研修	対応時の基本手順、未然にクレームを防ぐためのポイント
2月	『個別支援計画』作成および運用に関する研修会	個別支援計画の考え方、作成のプロセス事例検討等
3月	指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修	平成30年度障害福祉サービスの報酬改定、制度改正、事業者指導監査

平成29年度 館内研修

	研修名	内容	講師
4月	新任職員研修	新任職員が入る毎に行う 所長講話、両室について、送迎バスについて、保健衛生について、車いす講習、電話対応 等	松森所長 他各担当職員
11月	新任職員研修	新任職員が入る毎に行う 所長講話、両室について、送迎バスについて、保健衛生について、車いす講習、電話対応 等	松森所長 他各担当職員
12月	職場内コミュニケーションについて	「鴨頭嘉人の人の仕事も人生も面白くなる働き方」視聴	松森所長 他各担当職員
1月	接遇マナーについて	接遇マナーを実践する心構え 接遇者としての自己表現のあり方 顧客満足を高める来客対応のあり方	近藤 宜子(セルフケア・カンパニー)
2月	PTから見たデイサービス職員ができること	体、運動の仕組み、上田法の基礎知識 実技講習	柴田 邦宏(広島県立リハビリテーション病院)
随時	館外研修報告会	館外研修後、研修内容を報告伝達し実践できるようにする	各職員

平成 29 年度 事 業 報 告

広島市西部障害者デイサービスセンター

1 管理業務の実施状況

(1) 市民の平等利用の確保策の実施状況

- ・ デイサービスセンター条例第 4 条に基づき、適正利用に努めている。

(2) 事業の実施状況

- ・ 開館日数 293 日
- ・ 開所日数 244 日

(3) 施設管理の実施状況

- ・ 毎月はじめに各室安全点検実施
- ・ 送迎バス点検整備……随時
- ・ 避難訓練の実施……火災訓練 2 回／年〔6 月、11 月〕
地震訓練 1 回〔2 月〕

2 施設の点検・修繕等の実施状況

- ・ エレベーター点検……定期点検〔毎月 2 回実施〕
- ・ 小荷物専用昇降機保守点検……定期点検〔毎月 1 回実施〕
- ・ 自家用電気工作物点検……定期点検〔毎月 1 回実施〕
- ・ 消防設備点検……2 回／年〔8 月、3 月実施〕
- ・ 空調設備点検……2 回／年〔5 月、11 月実施〕
- ・ 警備業務……機械警備〔毎日〕
- ・ 建築物設備点検……1 回／年〔1 月実施〕
- ・ ねずみ・昆虫等防除……定期点検〔毎月 1 回実施〕
- ・ 送迎バス害虫駆除……2 回／年〔8 月、2 月実施〕
- ・ 一般廃棄物収集運搬処分業務……一日一回収集〔月～金実施〕
- ・ バス運行管理……毎日〔月～金実施〕
- ・ 給食委託……毎日〔月～金実施〕
- ・ 渡り廊下改修
- ・ 新館車庫側扉鍵修理
- ・ 厨房パイプ修理
- ・ 車庫側通路屋根修理
- ・ 新館車庫側扉滑車修理
- ・ 社会適応訓練室非常灯バッテリー交換
- ・ 防災盤バッテリー交換
- ・ 非常灯付け替え工事（機能訓練室）
- ・ 総合防災盤配線工事
- ・ 電気メーター交換
- ・ 排煙窓故障仮修理
- ・ LED 工事

3 事業の実施状況

(1) 生活介護事業

① 作業室

- ・定員 30名 契約利用者数 30名（9月1名解除・11月1名契約）
- ・入浴サービス 1名
- ・給食サービス 29名
- ・送迎サービス 27名
- ・活動

	月	火	水	木	金
午前	グループ活動 たくみ やわら 匠・柔	グループ活動 たくみ やわら 匠・柔	グループ活動 たくみ やわら 匠・柔	グループ活動 たくみ やわら 匠・柔	グループ活動 たくみ やわら 匠・柔
	※2つのグループに分かれて活動				
	グループローテーションによる散歩				
昼 休 憩					
午後	作 業	作 業	作 業	作 業	作 業
	機能訓練	機能訓練	理学療法相談 (1・4・5週) 機能訓練	機能訓練	機能訓練
	自然派クラブ 毎 週	音楽クラブ 毎 週	さをり・筆クラブ 第1・3週	レックゴークラブ 毎 週	陶芸・工作クラブ 第1・3週
		うんどう 毎 週	フィットネス 第2週	うんどう 毎 週	なごみ 第2・4週
			シネマ 第4週		
	クラブいきいき（文化・芸術鑑賞等） 第5週				

・行事

- ・ 5月 春の食事会（ダイヤモンドホテル）
- ・ 7、8月 夏の館外活動（廿日市スポーツセンター、LECT、広島駅周辺等）
- ・ 9月 還暦を祝う会
- ・ 12月 忘年会

② 重介護サービス室

- ・定員 A 10名 B 10名 契約利用者数 A 8名 B 8名（8月1名解除・11月1名契約）
- ・入浴サービス 13名
- ・給食サービス 13名
- ・送迎サービス 10名

・活動

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1週	季節イベント	季節イベント	理学療法相談 機能訓練	スヌーズレン	スヌーズレン
	個別活動	個別活動	個別活動	個別活動	個別活動
第2週	レクリエーション	レクリエーション	理学療法相談 機能訓練	調理実習	調理実習
	個別活動	個別活動	理学療法相談 機能訓練	茶話会	茶話会
第3週	音楽	音楽	理学療法相談 機能訓練	朗読	朗読
	個別活動	個別活動	理学療法相談 機能訓練	個別活動	個別活動
第4週	美術	美術	理学療法相談 機能訓練	シネマ	シネマ
	個別活動	個別活動	個別活動	個別活動	個別活動
第5週	ゲーム	ゲーム	理学療法相談 機能訓練	ファジー	ファジー
	個別活動	個別活動	個別活動	個別活動	個別活動

※外気浴・買い物等は4月5月6月10月11月の天候の良い日に実施

・行事

- ・ 5月 春の食事会（ホテルグランヴィア広島）
- ・ 11月 館外活動（アルパーク）
- ・ 12月 冬の食事会（ホテルグランヴィア広島）
- ・ 1、2月 ボウリング大会

③ 利用促進の数値目標に対する実績値及び利用促進策の実施状況

	月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
作業室	登録者数	30		30		30		30		30		30		29		30		30		30		30		30	
	出席可能日	20		20		22		20		22		20		21		20		20		19		19		21	
	出席可能な延べ日数	600		600		660		600		660		600		609		600		600		570		570		630	
	実出席延べ日数	497		491		534		481		511		495		510		486		474		434		457		516	
	出席率（％）	83%		82%		81%		80%		77%		83%		84%		81%		79%		76%		80%		82%	
重介護室	グループ	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
	登録者数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	出席可能日	10	10	10	10	11	11	10	10	11	11	10	10	11	10	10	10	10	10	9	10	10	9	10	11
	出席可能な延べ日数	80	80	80	80	88	88	80	80	88	88	70	80	77	80	80	80	80	80	72	80	80	72	80	88
	実出席延べ日数	45	54	51	54	56	55	48	52	51	49	54	71	55	72	61	66	65	65	51	64	66	53	57	70
	出席率（％）	56%	68%	64%	68%	64%	63%	60%	65%	58%	56%	77%	89%	71%	90%	76%	82%	81%	81%	71%	80%	83%	74%	71%	80%
	平均出席率	62%		66%		64%		63%		57%		83%		81%		79%		81%		76%		79%		76%	

(2) 地域生活支援事業

① 教室利用状況

教室内容	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	精 神	その他	計	介 助	V r	回数
手工芸教室	2	9	18	34	1	0	64	42	0	18
七宝焼教室	0	19	23	10	0	0	52	10	0	10
機織り教室	13	0	52	0	50	0	115	50	11	18
絵画教室	0	0	88	42	0	0	130	31	0	19
書道教室	0	0	126	14	0	0	140	11	10	16
生け花教室	9	19	17	34	4	0	83	19	0	19
陶芸教室	0	43	66	17	10	0	136	16	26	17

② サークル活動

- ・スマイル（手話サークル）
月2回活動 13：30～15：00
登録者数 5人

③ 福祉相談

- ・高校卒業後の進路選択のため、在宅者の日中の過ごし方についての相談をおこなった。

(3) 地域交流事業

① 育成会まつり 9月10日（日）

- ・作品展示

② 西部デイ祭り 10月14日（土）

- ・作品展示、喫茶、メイクコーナー、バイオリン演奏、ファッションショー、バザー

③ 西区福祉まつり 10月 7日（土）

- ・パネル展示

4 防災・安全管理

- ・月1回安全点検実施
- ・消防避難訓練（6月、11月）
- ・地震訓練（2月）

5 職員研修（別添）

- ・館内研修 5件
- ・館外研修 19件

6 広報

- ・センター通信 年4回発行（6月、10月、12月、3月）
- ・年報作成

別添1

施 設 の 利 用 状 況 (平成29年度)

(1) デイサービス利用者数

＊作業室

登録者数	30 人
(うち新規登録者)	1 人
利用延べ回数	5,886 回
給食提供食数	5,630 回
入浴提供回数	94 回
送迎提供回数	10,210 回

＊重介護サービス室

登録者数	16 人
(うち新規登録者数)	1 人
利用延べ回数	1,385 回
給食提供食数	1,050 回
入浴提供回数	1,130 回
送迎提供回数	1,644 回

(2) 使用許可件数

機能 訓練室	利用件数	0 件
	利用人数 障害者	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	0 人

会議室	利用件数	29 件
	利用人数 障害者	29 人
	一般	131 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	160 人

和室	利用件数	0 件
	利用人数 障害者	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	0 人

社会適応 訓練室	利用件数	9 件
	利用人数 障害者	5 人
	一般	48 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	53 人

＊ 教室事業利用者数

・障害者	846人
・介助者	210人
・ボランティア	52人

＊ ボランティア、実習生等受入数

ボランティア	89 人
実習生	0 人

(3) 使用拒否等の件数・理由〈年月日、相手方の住所・名前、理由〉

0 件

(4) 有料利用者数

・障害者	0人
・一般	0人

(5) 減免対象者数・理由

213 人 理由:福祉の向上のため 担当学会議 区分認定調査

(6) 利用料金収入額

100,678,712 円

(内訳)

介護給付費	97328816円
定率負担	
給食・入浴の実費	3349896円

介護給付費、定率負担額については、
地域生活支援事業分も含んだ額

別添 2 職員研修

今年度の研修については、専門的知識をより深めるため、研修内容に焦点を宛てて参加した。また、研修報告においても随時行っていき、職員間で知識を共有していくことで職員の資質向上に努めた。

研 修 名	研修内容	研修場所
キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) (5月18日・19日)	福祉職員が自らのキャリアの道筋を描き、それぞれの段階に応じた能力の向上を目指すとともに、各法人、事業所が積極的に職員のキャリアパスに関与し支援することを目的とする研修	広島県 社会福祉会館
職場研修担当者研修 (5月24日・25日)	自施設における研修ニーズを分析し、年度研修計画作成などの基礎を学ぶ	広島県 社会福祉会館
食中毒予防講習会について (6月)	食中毒予防・食中毒予防対策についての研修	西区民文化センター
安全運転管理者等法定講習 (6月)	道路交通法第108条2第1項第1号に掲げる安全運転管理者・副安全運転管理者に対する講習	広島県 運転免許センター
広島県相談支援従事者初任者研修 (7月18日・19日)	サービス管理責任者研修を受講するために必要な知識を得るための研修	安芸区民文化センター
人権擁護研修 (9月)	障害者虐待の現状と課題を理解する。日常の支援を虐待防止の視点から意識化する	広島県 社会福祉会館
手をつなぐ育成会 中国・四国大会 徳島大会 (11月)	共生社会をめざして取り組まなければならない課題についての研修会	ザ グランドパレス
サービス管理責任者研修 (11月・12月21日・22日)	サービス管理責任者養成のための研修	安芸区民文化センター 広島工業大学専門学校

広島県知的障害者福祉大会 大竹大会 (11月)	障害者の高齢化・重度化や親なき後も見据えてどうすべきかを考える大会	大竹市総合市民会館
リスクマネジメントセミナー (11月)	交通事故防止策・安全運転管理体制の構築について	(株)日産プリンス 本社工場
広島市社会福祉大会(11月)	地域福祉活動の役割について	広島市総合福祉センター
きらっと光る 人生を考える研究大会 (12月)	地域生活支援拠点等の整備についての現状把握、より良く制度を実施していくために行政へどのように働きかけるかを考えていく研究会	広島県 健康福祉センター
障害者虐待防止・権利擁護研修 (12月)	虐待防止法の理解と虐待対応の流れと予防について学ぶ権利擁護研修	広島県 健康福祉センター
社会福祉経営者・施設長等研修 (1月)	社会福祉制度の動向や時代ニーズを正しく捉え、適切な施設運営・事業推進のために必要な知識・認識を深めるための研修	広島市 総合福祉センター
福祉施設の防災・災害時に役立つ地域との関係づくり研修(2月)	地域の防災・減災拠点としての施設の役割を確認する。	広島県 社会福祉会館
障害のある人の 地域生活支援セミナー (2月)	身近な地域で、その人らしく生活していくための「地域づくり」を進めるにあたり、関係機関と地域との連携、協働すれば良いかを考える研修。	広島市 東区地域福祉センター
障害者福祉センター等 職員研修会 (2月)	国の障害者福祉行政等新しい情報を提供するとともに地域の障害者生活支援及び施設経営等の知識についての研修	全国障害者 総合福祉センター (戸山サンライズ)
福祉職場のリーダー育成研修 (2月)	すべての職員に共通に求められるリーダーシップとは何かを具体例をあげながら考える研修	広島県 社会福祉会館
指定障害福祉サービス事業者等 集団指導研修 (3月)	障害福祉サービス事業所の運営指導監査などについての研修	東区民文化センター

別添2 館内研修

今年度も昨年度と同様、心肺蘇生法とAED使用方法について習得する講習会を実施した。機能訓練の一環としてセンターで取り組んでいる「上田法※」の実践や、保護者との良好な関係づくり、利用者支援をより充実させるための研修を行った。

【機能訓練（上田法）研修】

実施期間	平成29年 6月8日（木）
講 師	理学療法士 柴田 邦弘（広島県立障害者リハビリテーションセンター）
研修内容	【上田法について】 ・上田法の目的・手技の特徴・効果など・実技・利用者への施術

※上田法は、1988年愛知県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園の名誉園長であり小児整形外科である上田正氏が開発した治療法である。

【救命救急講習会】

実施期間	平成 30年 2月23日（金）
講 師	（株）サニクリーン広島 派遣指導員 2名
講習内容	蘇生法とAED使用方法を習得する （実技は訓練人形を使用して実施）

【接遇について①】

実施期間	平成30年2月8日（木）
講 師	（有）プロモーションケイ 石田 博美
講習内容	保護者との良好な関係づくり及び利用者支援の充実について演習を交え講義を聴く。

【接遇について②】

実施期間	平成30年2月15日（木）
講 師	（株）福々庵 森本 真由美
講習内容	保護者との良好な関係づくり及び利用者支援の充実について講義を聴く。

【マッサージについて】

実施期間	平成30年3月7日（水）
講 師	触れ合い療法セラピスト 下原 佳子
講習内容	触れ合い療法としてのハンドマッサージとヘッドマッサージの実技

平成29年度広島作業所事業報告

I 広島作業所 利用状況

(1) 年齢状況

就労継続A型

平均年齢 41歳

性別	現数	年 令 階 層 別 人 数					
		～19	20～	30～	40～	50～	60～
男	18	0	1	5	11	0	1
女	2	0	0	1	1	0	0
計	20	0	1	6	12	0	1

就労継続B型

平均年齢 46歳

性別	現員	年 令 階 層 別 人 数						
		～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～
男	40	1	9	2	14	6	6	1
女	9	0	0	0	3	5	2	0
計	49	1	9	2	17	11	8	1

生活介護

平均年齢 30歳

性別	現員	年 令 階 層 別 人 数						
		～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～
男	10	1	4	2	2	1	0	
女	6	1	4	1	0	0	0	
計	16	2	8	3	2	1	0	

(2) 在勤年数状況

就労継続A型

性別	現数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上3 年未満	3年以上4 年未満	4年以上5年 未満	5年以上 6年未満	6年以上
男	18	0	1	0	0	0	1	16
女	1	0	1	0	0	0	0	1
計	20	0	2	0	0	0	1	17

就労継続B型

性別	現数	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年満	15～20年未満	20～25年未満	25年以上
男	39	2	8	10	1	2	5	11
女	10	0	3	0	0	0	0	7
計	49	2	11	10	1	2	5	18

生活介護

性別	現数	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年満	15～20年未満	20～25年未満	25年以上
男	10	0	6	2	1	1	0	0
女	6	0	4	1	0	1	0	0
計	16	0	10	3	1	2	0	0

(3) 居住地別状況**就労継続 A 型**

性別	総数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市	府中	東広島	安芸高
男	18	1	4	4	6	0	0	1	1	0	1	0	0
女	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	2	4	4	7	0	0	1	1	0	1	0	0

就労継続 B 型

性別	総数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市	府中	東広島	安芸高
男	41	4	2	14	4	0	1	1	6	7	0	0	0
女	10	0	3	3	1	0	1	0	2	1	0	0	0
計	49	4	5	17	5	0	2	1	8	7	0	0	0

生活介護

性別	総数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市			
男	10	0	1	4	0	0	0	0	3	0			
女	6	1	1	3	0	1	0	0	2	0			
計	16	1	2	7	0	1	0	0	5	0			

(4) 障害程度区分**就労継続 A 型**

平均区分 2.75 (8 人)

区分	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	未判定
人数	0	1	1	5	1	0	0	12

就労継続 B 型

平均区分 3.42 (40 人)

区分	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	未判定
人数	0	0	5	17	14	4	0	9

生活介護

平均区分 5.18 (16 人)

区分	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	未判定
人数	0	0	0	0	4	5	7	0

(5) 利用者異動状況

	就 労	入 所	退 所	内 容
就労 A 型	0	0	2 人	2 人 A 型から清掃事業へ
就労 B 型	0	3 人	1 人	1 人 高齢により介護事業所へ
生活介護	0	2 人	2 人	B 型へ変更・自宅へ

2 就労支援の状況

(1) 支援体制、作業内容 就労支援継続 A 型

A 型指導員	サービス管理責任者（1） 職業指導員（1） 生活支援員（1）			
作業内容	広島市清掃委託業務に従事			
業務履行場所	平和大通り	高天原墓園	比治山公園	リハビリテーションセンター敷地
利用者数	10		9	1
現場指導員	1		2	1 (3)

(2) 勤務時間・報酬

ア 勤務時間 1日4時間

【午前の勤務】 8:30~12:30 【午後の勤務】 13:15~17:15 のいずれかに従事。

イ 報酬 最低賃金を保障する。

時給 793 円（4月1日~9月30日） 818 円（10月1日~3月31日）

月平均賃金 59,774 円

(3) 勤務の状況 就労支援継続 A 型（定員 18）登録 20 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
出席	372	374	407	347	392	352	402	369	389	346	334	369	
一日平均	18.6	18.7	18.5	17.35	17.8	17.6	19.1	18.45	19.45	19.2	17.57	18.45	18.39
月 (%)	102.7	103.8	102.7	96.3	98.8	97.7	106	102.5	108	106.6	97.6	102.5	102%

2 就労支援の状況

(1) 支援体制、作業内容 就労継続 B 型・生活介護

1 部署	金具組立・銅線選別・リサイクル・育成会祭り・釣り針組立・駐車場植栽剪定と草抜き車座席シートカバー
2 部署	建築金具組立・公園清掃・封筒入れ
3 部署	箱折作業（弁当箱・菓子箱）・箱詰作業・シール張・ペット関係袋詰め・ゴム（自動車部品）の加工
4 部署	ゴム（自動車部品）の加工・空き缶リサイクル・喫茶コーナー

新規 作業 車座席シートカバー

(2) 部署別 利用者数

部署	1 部署	2 部署	3 部署	4 部署	計
職員数	3	3	3.47	2.6	12
利用者（男）	14	12	15	10	51
利用者（女）	3	3	2	6	14
計	17	15	17	16	65

※ 1~3 部署職員（就労継続 B 型）は、目標工賃達成指導員 1 名・職業指導員 1 名以外は、短期入所勤務と兼任

(2) 作業時間・工賃

ア 勤務時間 1日 5時間位

【午前作業】 9:00~11:45 【午後作業】 13:00~15:45

イ 作業収入及び工賃 就労継続 B 型（1~3 部署）

就労総収入 約 7,400,000 円 内工賃支払 約 6,300,000 円 一人当たり月約平均 11,000 円

作業収入及び工賃 生活介護（4 部署）

就労総収入 約 800,000 円 内工賃支払 約 400,000 円 一人当たり月約平均 4,000 円

(3) 通所状況 就労継続B型（定員 42）登録 49

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
出席	882	844	933	831	820	854	873	841	846	793	790	863	
平均	44.1	42.2	42.4	41.5	37.2	40.6	41.57	42.05	42.3	41.73	41.57	43.1	41.7
利用率	105	100.4	100.9	98.8	88.5%	96.6	98.9	100.1	100.7	99	98.9	102	99%

(4) 通所状況 生活介護事業（定員 10）登録 16

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
出席	179	160	171	160	145	149	160	153	159	147	153	168	
平均	8.95	8	7.77	8	6.59	7.45	7.61	7.65	7.95	7.7	8	8.4	7.83
利用率	89.5	80	77.7	80	65.9	74.5	76.1	76.5	79.5	77.3	80	84	78.3%

3 本人中心の行事等

(1) 話し合いの場への参加と活動

- ア 作業所運営委員会への出席（利用者の意見を集約して代表が意見を述べる。）
- イ 生活委員会（毎月第2火曜日）
 - ・行事の企画運営（サマータムの過ごし方・喫茶販売・研修旅行等）
 - ・生活目標設定、掃除当番など

(2) 実施した行事・活動

月	行 事 等
4月	新メンバー及び職員紹介
5月	利用者健康診断（巡回検診車）
6月	
7月	ボーナス
8月	大掃除 避難訓練
9月	育成会祭り
10月	避難訓練 日帰り出張研修
11月	泊を伴う出張研修・利用者健康診断
12月	大掃除 ボーナス
1月	新年激励会
2月	夜間想定避難訓練（津波想定）
3月	送別式・短期入所夜間想定避難訓練

4 健康診断

広島作業所にて 年2回実施 巡回健康診断・嘱託医

5 地域とのつながり

(1) 学校等

広島県立廿日市特別支援学校・広島市立広島特別支援学校の家族・生徒見学

(2) 福祉関係等

広島県知的障害者福祉協会 広島市施設連盟 広島障害者雇用支援センター 広島市障害者就業・生活センター ハローワーク 市内各社会福祉協議会

(3) 施設・団体

広島市農林水産振興センター 商工センター企業連携協議会 広島商工センター地域連携サミット

(4) 広報活動

作業所たより（行事予定表）、 広島作業所パンフレットの活用

6 家族会、後援会との連携

- (1) 家族会・後援会総会（5月）
- (2) 家族会1～3 作業部署・4 作業部署 隔月
- (3) 毎月「作業所たより（行事予定表）」「給食献立表」配布

7 職員の研修

(1) 各種研究会や公的機関の開催する研修会への参加

ア 所外研修会等

- 中国・四国地区手をつなぐ育成会大会
- 広島県知的障害者福祉大会
- 広島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ等研修5回
- きらっと光る大会
- 法人夏季研修 等

イ 所内研修

- 研修報告会、事例研究（ケース会議）、人権研修、てんかんについて
- 日米クック職員講師を招いて 衛生研修
- 久笠弁護士を招いて 軽度知的障害者と触法行為について
- 人権倫理綱領 毎朝読み合わせ

8 職員会議等

- (1) 職員会議 （毎月第3水曜日）

9 広島作業所運営委員会

年1回 開催

10 各分掌業務

(1) 総 務

- ① 医療機関との連携（嘱託医）
- ② 防災訓練（火災避難訓練）
- ③ 害虫駆除（広島県薬業）
- ④ 給食関係事務（嗜好調査、業者との連絡等）
- ⑤ 安全点検（毎月）：チェックリスト表による点検と対応
- ⑥ 工賃計算・交通費助成の申請・請求・支払
- ⑦ 事故報告・苦情解決
- ⑧ 介護等給付及び 訓練等給付費請求事務

(2) 生活委員会（1部 2部 3部 4部 各部署2名） 会議開催 メンバー支援を計画実施

- ① 個別支援計画の見直し 利用者の目標・願い等の実態把握
- ② 生活目標の設定と反省
- ③ 交流サロンの運営等
- ④ 日々の生活における環境チェック バラの手入れ・草抜き
- ⑤ 健康管理 健康診断実施計画 伝染性疾病の予防 うがい手洗い励行
- ⑥ 本人中心・本人参加の行事の推進（出張研修 等）

(3) 作業部署（1部 2部 3部 4部）

- ① 毎月の安全目標の設定 作業室の整理整頓をしてケガのない部署運営
- ② 清潔な環境の維持整備
- ③ 利用者の健康、生活管理（健康観察、服装 作業着 エプロン 帽子等）
- ④ 作業の開拓

11 短期入所事業 短期入所利用 定員 4

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
利用	85	56	54	87	102	89	93	108	104	86	75	80	
平均	2.8	1.8	1.8	2.8	3.29	2.96	3.1	3.43	3.35	2.77	2.67	2.58	2.7
利用率	70	45	45	70	82.2	74	75	85.7	83.8	69	66	64	69%

12 サービス向上受付

- ① 利用者のお金が更衣室で紛失。(B型)
- ② 職員の言葉の使用について(清掃)
- ③ 職員による身体的人権侵害(生活)

13 課題

- (1) 一貫性のある個別の支援計画作成。家庭と相談事業所等との連携する為に窓口の一本化が必要。
- (2) 高齢保護者の世帯やグループホームの単身の利用者支援について他の相談機関等と連携する機会を増やしていく。
- (3) 受注作業の選択と整理・工賃向上
- (4) 送迎体制の確立
- (5) 短期入所勤務体制の確立
- (6) 作業部署や業務履行部署等が、広範囲。同性介助や他事業の業務や部所を超えた職員間の連携をより緊密に行う。
- (7) グランドデザインの実践
- (8) 移動販売車利用と効果の検討(創樹会(カレー販売車導入))
- (9) 障害の理解と人権擁護
- (10) 敷地内の車両通行に伴うメンバーの安全確保

平成29年度 事業報告書

広島市手をつなぐ育成会
育成会 上安作業所

1 事業の名称

育成会 上安作業所（就労継続支援B型事業）

及び喫茶いくせい（上安バスターミナル店、広島ビッグウェーブ店）運営業務

2 事業の目的

一般企業等で就労することが困難な障害者が、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動又は商業活動の機会の提供を行う。

3 事業の内容

定員20名。平成29年3月末時点での登録者は23名。

※月ごとの利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
作業所	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16
上安喫茶	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
牛田喫茶	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5
計	24	24	24	24	23	23	23	23	23	23	24	23

◎就労支援事業

① 上安作業所（月～金 10：15～16：00）

- ・街区公園等清掃事業 ○上安第3公園清掃及び花壇管理業務
- ・下請作業（定期） ○ダイソー商品の製作梱包（20～30箱／週）
○トリートメントの台紙貼り（10000枚／週）
○建築部材の組立（9900個／週）
○しぼり袋のセット（850セット／週）
○薬袋の封筒貼り（1000枚／4週）
- ・下請作業（不定期） ○印刷物ページ取り、封入、盆灯籠飾り、凧飾り用水引制作
○土産用折鶴の制作

② 喫茶いくせい 上安バスターミナル店（月～金 10：00～17：00）

- ・喫茶室運営 上安バスターミナル1F「喫茶いくせい」での接客等
- ・売店運営 喫茶いくせい売店にて各作業所の就労支援商品等の接客・販売

② 喫茶いくせい 広島ビッグウェーブ店（火・水曜日定休 10：00～17：00）

- ・喫茶室運営 広島市東区スポーツセンター2F「喫茶いくせい」での接客等
- ・売店運営 喫茶店内にて食品販売
スケートリンクで売店コーナーの開設（10月～4月）

- ▼まつり、バザーへの出店（駄菓子屋） 育成会まつり 安佐南区ボランティアまつり
安公民館まつり 安佐南区音楽交歓会

◎その他の活動

- ① 春……岩国錦帯橋への日帰り旅行（福祉バス利用） 4 / 1 8 参加者 2 2 名
- ② 夏……世羅西青少年旅行村へのデイキャンプ（福祉バス利用）
7 / 2 5 参加者 2 0 名
- ③ 秋……宮島への紅葉狩り（公共交通機関利用） 1 1 / 2 1 参加者 2 3 名
- ④ 冬……マエダハウジング東区スポーツセンター、トレーニングジム体験会
3 / 1 5 参加者 9 名
- ▼ビヤガーデンの会（そごう屋上） 6 / 2 3
- ▼忘年会（毘沙門台、とり楽） 1 2 / 5

- 4 実習生の受け入れ 祇園東中学校特別支援学級生徒 3 名
(5 / 2 4 ~ 2 6)

5 就労実績

0 名【累計 5 名】

6 平成 2 9 年度の重点目標に対する成果

○牛田喫茶、上安喫茶、上安作業所の職員配置を効率的に行い、事業所の機能強化と持続的運営に努める。

↓

正職の副所長（サービス管理責任者）の配置により人的なゆとりが生まれ、喫茶の繁忙時の応援体制が整った。それが来店客へのサービスの向上につながり、職員・利用者とも落ち着いて接客できるようになっている。喫茶のメニューを増やし、従業員のユニフォームを新調するなどの意欲的な取り組みが功を奏して常連客も増えつつある。牛田喫茶の場合、プール天井の剥離や外壁工事などによって利用者が減少し、売り上げ減につながったものの、平日の来店客が増えるなどの効果があった。

○地域との連携を深める。

↓

安佐南区内の各種団体・施設との連携を図り、諸会議への出席、まつりなどの行事への積極的参加を通して障害者理解をすすめ、育成会上安作業所の知名度を上げるように努めた。地域のまつりについては 3 つのイベントに出店し、地域の方々との交流も広がった。

また、安公民館とのコラボで障害者の居場所づくりとして毎月第 1・第 3 木曜日の午後にサロン「ひまわり」の運営に協力し、利用者の日常活動を豊かにするための取り組みを目指している。

7 事業所への苦情

件数 0

平成 29 年度 広島市就労支援センター事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

1. 事業目的

広島市内の障害者就労支援施設等における仕事の受注拡大、製品の販路開拓及び新商品の開発等を図り、障害者就労支援施設等における事業を振興し、施設利用者の「社会参加と自立」を支援する。

2. 重点目標

- (ア) 発注者等の当センター利用者のニーズにこたえる。
- (イ) 障害者就労支援施設等から信頼されるセンターを目指す。
- (ウ) イベント等への出店販売が円滑に実施できるように支援する。

3. 平成 29 年度の重点取組

- (ア) 工賃向上に向けた現事業(販売、イベント支援等)の更なる見直し
- (イ) 縁を大切にすると下請け仕事の受注促進及び支援の充実
- (ウ) 販路開拓のために、商品の単独製作から共同製作(分業 or コラボレーション)等、新商品開発へ向けての調査及び促進

※ 上記の取組を効果的に実践するために、運営協議会部会から助言を求める。

4. 事業内容

(ア) 販路開拓へ向けて

① イベント等開催に伴う製品展示・出店販売

- ✧ 4 月:スケート感謝祭(16 日、5 事業所)、横川ふしぎ市(23 日、3 事業所)、中央チャリティーメーデー(29 日、11 事業所)
- ✧ 5 月:フラワーフェスティバルふれあい広場(3～5 日、25 事業所)、市役所1階ロビー販売開始(毎火曜日、19 事業所)、安佐北区役所・総合福祉センター販売開始(原則第火曜日、4 事業所)
- ✧ 6 月:㊦第 1 回ハートフル・フェスティバル(CLiP:10～11 日、4 事業所)
- ✧ 9 月:育成会まつり(11 日、4 事業所)、㊦第 3 回防災ジャパンプロジェクト in CLiP(9～10、3 事業所)
- ✧ 10 月:NTT 中国グループ駅伝・綱引き大会(1 日、1 事業所)、秋のグリーンフェア(7～15 日、9 事業所)、広島市スポーツレクリエーション・フェスティバル(8 日、5 事業所)、スケートリンク開場祭(22 日、5 事業所)、
- ✧ 11 月:西区民まつり(5 日、4 事業所)、広響と障害者のジョイントコンサート(26 日、10 事業所)、セルプフェア(広島県就労振興センターと協働主催、11 月 30 日～12 月 12 日、市外 7 事業所を含む 33 事業所)
- ✧ 12 月:、神田山荘フェスタ(2 日、3 事業所)、損害保険ジャパン日本興亜出店販売(12～15 日、13 事業所)、
- ✧ 1 月:僕らのアトリエ IN アステール(市教育委員会と共催、25～27 日、新規 4 事業所、計 17 事業所)
- ✧ 3 月:㊦春の交通安全広島中央フェスタ(Clip:広島中央警察署主催、3 事業所)
- ✧ 毎月販売:イオンモール祇園店(4～5 事業所)
- ✧ その他:NHK 共済会(3 か月に 1 回、1 事業所)

② 市・外郭団体、民間団体、個人、企業からの新規開拓推進、受注促進を強化し、各事業所と連絡・調整を図る。

- ✧ 生協ひろしま(9 店舗)、安佐動物公園、レストハウス(改修工事のため H30 年 1 月末を持って

販売を終了する）、光洋（土屋病院・中電病院、広島赤十字・原爆病院）、ローソン広島支店（広島市民病院）、舟入病院、あおぎり、神田山荘（雑貨に加えてクッキー販売）、宮浜グランドホテル、いなだ屋、アステールプラザ・レストランラコントル、広島森林公園、メルパルク広島（3月末で終了）、現代美術館、マツダロジスティクス（毎週納品）

- ✧ ひろしま美術館：2 事業所
 - ✧ 県立美術館（ショップは福屋本店画廊が担当）：、1 事業所
 - ✧ ⑧安田女子大パン製造販売店へクッキー等を納品（1 事業所、紹介だけ行い、その後は企業と事業所間で実施）
 - ✧ カープクッキー納品（6 事業所）
 - ✧ 良和ハウスプレゼント・スポンサードゲーム観戦者プレゼント（8 月 12 日、13 事業所納品）
 - ✧ 広島総合教育専門学校祭（11 月 12 日、10 事業所納品）
 - ✧ 広商デパート（12 月 10～11 日、17 事業所納品）
 - ✧ 市議会クッキー納品（5 事業所）
 - ✧ 文化シャッター納品（6 月、9 月、12 月、7 事業所納品）
 - ✧ 広島市中心身障害者福祉センターまつり（12 月 3 日、14 事業所納品）
 - ✧ アビリンピック（1 月 11 日）
 - ✧ ⑧おりづるタワーと契約
- ③ 福祉事業団助成事業（広島市中心身障害者福祉基金～尾崎基金～）の適正な実施
- ✧ 販路開拓・技術支援事業（4 事業所参加）⇒2 月 21 日報告会開催
 - ✧ 就労支援施設等機能強化推進事業（19 事業所）
 - ✧ 「広島市中心身障害者福祉基金」事業評価の実施

（イ）下請け作業の斡旋及び調整

- ① 年間を通じて安定的・継続的な受注確保のために事業所の情報を提供する。
- ② 季節物や随時依頼のあった下請け作業等、依頼企業との関係を構築し、新事業所への斡旋を拡大し、また恒常的な受注が可能のように依頼する。
 - ✧ 当センターが直接、関与している企業：株式会社ヤマサキ（30 事業所⇒発注増 5 事業所追加）、アークライン（10 事業所）、トラスト（2～5 事業所）
 - ✧ 他は、当センターが事業所を紹介するが、最終的には事業所と依頼企業が話し合ってスムーズな契約と長期の受注が可能になるように支援する。企業の希望に合わせて受注事業所を拡大する。
 - ✧ 適正な工賃について検討をお願いする。
 - ✧ 新規等事業所
稲田製作所（ペンキ缶持ち手製作：1 事業所）、PMA（タオル袋詰め：1 事業所追加）、キッズエンジェル（子供服リサイクル等：3 事業所追加）、セーラー子会社（シャープペンシル組み立て、2 事業所）、萬国製針（針止め：1 事業所追加）、ウイズユウ（パジャマの糸抜き、袋詰め：1 事業所増）、貴正総業（シャープペンシル組み立て：2 事業所）、井戸商会（プラスチック製品不良品見分け、1 事業所）、水道局（メーター解体、1 事業所追加）、ゼロネット（ベープ組み立て、縁取り：4 事業所）、教育委員会（テープ起こし、1 事業所）、日興紹介（ビニール袋ミシン目とり、3 事業所）

（ウ）生産支援に向けて

- ① 事業所訪問を積極的に行い、情報収集および情報提供を実施する。
- ② 製品カタログの定期的更新と、「センター通信」（事業活性化のための情報の収集と提供）により情報を提供する。
- ③ 研修強化

◇ ブラッシュアップ研修会

- 1) テーマ:「ディスプレイ、ポップ作成も含めて商品開発・販売の困り事をみんなで考えましょう」
- 2) 開催日:第1回平成29年8月23日、第2回9月22日、第3回10月27日 計3回
- 3) ファシリテーター:デザイナー 吉清 有三 氏
- 4) 5事業所7名参加

- ④ 分業・コラボレーションできる商品の開発
- ⑤ 千羽鶴ファクトリーの推進

一般社団法人千羽鶴未来プロジェクトと連携して実施している千羽鶴解体事業所が増えることで、千羽鶴ファクトリー構想が開始された。昨年度に引き続き、「すまいるスタジオ」を通して折鶴解体グッズのポストカードを広島市・平和推進課へ納品(130万枚から150万枚に増える)し、昨年の利益を解体事業所へ配分した。新たにカープ公認の缶バッジ等の販売を開始する。

9月8日:第6期へ向けて「千羽鶴ファクトリー報告会」:来賓6名、25事業所32名参加

(エ)市役所各部署との連携推進～障害者優先調達推進法～

- ① 原爆資料館見学者へ無料配布するポストカード等
- ② 佐伯区維持管理課(公園清掃:2事業所)
- ③ 市長賞記念品受注(障害福祉課、雇用推進課等から4種類)

5. 会 議

- (ア) 就労支援センター運営協議会(5月、3月)
- (イ) 運営協議会 部会(原則月1回)
- (ウ) 広島市心身障害者福祉基金(尾崎基金)管理運営委員会(6月、3月)
- (エ) 尾崎基金による助成金の審査会(6月)
- (オ) 広島ふれあい委員会
- (カ) ふれあいの広場・マーガレットコンサート実行委員会
- (キ) セルフフェア役員会、実行委員会

6. 関係機関、団体との行動連携

- (ア) 広島市役所:障害自立支援課・障害福祉課、精神保健福祉課、高齢福祉課、特別支援教育課、勤労市民課、雇用推進課、平和推進課 安佐北区役所(保健福祉課、区政調整課)、水道局 等々
- (イ) 各区社会福祉協議会
- (ウ) 広島県就労振興センター・・・セルフフェア、ふれ愛プラザ(マーガレットコンサート)
- (エ) 広島市心身障害者福祉センター・・・福祉基金助成事業
- (オ) 広島市手をつなぐ育成会・・・市就労支援センターへの支援
- (カ) 中小企業支援センター、セールスレップ協会広島支部
- (キ) 広島東洋カープ、生協ひろしま
- (ク) 広島県商工会連合会
- (ケ) 横川商店街組合
- (コ) 千羽鶴未来プロジェクト

7. その他

平成29年9月17日の台風18号により、広島市から借りている備品の大型倉庫が強風で50cm移動し、扉が開きにくい状況になった。委託費で元に戻す修繕を実施した。